

会長のページ 混合診療について - 混合診療解禁阻止を -	河野 雅行	3
日州医談 自殺対策について	吉田 建世	4
はまゆう随筆(その3)		7
長沼弘三郎, 北村 恵子, 藤井 義郎, 杜若 陽祐, 田中 茂樹 大森 史彦, 福元 廣次, 大迫 廣人, 長濱 彰宣, 木下 義美		
エコー・リレー(469)	稲倉 琢也, 町田英一郎	22
国公立病院だより(五ヶ瀬町国民健康保険病院)	崔 林承	24
専門分科医会だより(外科医会)	北村 洋	26
メディアの目 運動不足解消!	馬登 貴	27
ニューメンバー	海老原史高, 藤原 利成	49
診療メモ ファブリー病について	中山 健	72

叙勲・祝賀	16
表彰・祝賀	17
各都市医師会だより(延岡市医師会, 日向市東臼杵郡医師会)	18
あなたできますか?(平成 25 年度医師国家試験問題より)	23
ベストセラー	25
宮崎県感染症発生動向	28
薬事情報センターだより(328) オーソライズド・ジェネリック	30
九州医師会連合会第 34 回常任委員会	31
九州医師会連合会第 34 回常任委員会	33
平成 26 年度 宮崎県医師国民健康保険組合第 111 回通常組合会	34
日医インターネットニュースから	36
理事会日誌	38
県医の動き	44
会員の異動・変更報告	45
追悼のことば	46
医師国保組合だより	50
ドクターバンク情報	51
行事予定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
あ と が き	76

お知らせ 平成 26 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	15
クールビズについて	33
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	57
郡市医師会への送付文書	74
ご 案 内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会	25

医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 水彩パステル〕

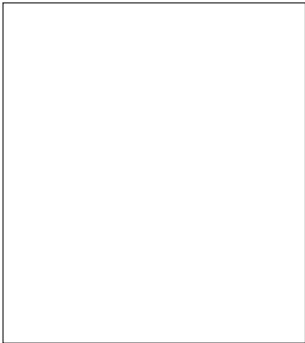
とまととチーズ

今まで草が生えていた所にとまとを植えました。正に完熟した時千切り、大きな皿に野菜と一緒に並べて飾りました。そして一気に「とまととチーズ」の絵を描きました。実は長い間絵を描こうとしても全然絵が描けず悩んでいたのです。長いトンネルから抜け出ることができた思い出の作品です。

宮崎市 いし かわ まさ こ
石 川 万佐子

会長のページ

混合診療について - 混合診療解禁阻止を -

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

首相が成長戦略の一環として混合診療解禁の方針を打ち出した。医療界の壁を突き抜けるような政策を盛り込むとの表現までしている。混合診療解禁の方針は以前から歴代の政府でも規制改革とか成長戦略とかの名目の下、様々名称を替えて出沒させている。今回の方針によって蠢動していた混合診療解禁への動きが闊歩し始めるであろう。既に各方面の動きが慌ただしくなっている。究極のターゲットは我々の貴重な財産である国民皆保険制度である。現在、我が国が世界でも有数の健康長寿国になったのは、この制度に負うところが大である。その制度が狙われている。

しかし、医療はそんなに儲かるものであろうか？経済界の幻想ではないだろうか？それとも我々の知らない錬金術でもあるのか？もし、あるならば、我々もそれなりの対応をしなければ、企業の餌食にされてしまう。元来、我が国では医療は営利目的であってはならないとされている。我々の感覚では医療を営利産業と捉える考えは、なじまない。

ところで混合診療を解禁するメリットとは何であろうか？疾病に悩む人々が、「いくら費用がかかっても、先進医療を受けたい、良い薬を使いたい」と思うのは人情である。裕福な人々が自分の望み通りの医療を受けられるメリットはあるであろう。また、経済団体、有識者と言われる混合診療推進論者によると、医療産業は数十兆円の規模との試算もある。それ程ならば、経済活性の面から見ると、大いに食指が動くのも肯んぜられるし、大きな牽引力になるかもしれない。政財界が経済不況の解決策として躍起になって取り上げるのも無理はない。

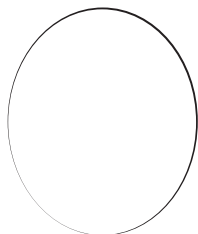
一方、日医が主張しているごとくデメリットも大と思われる。現在の皆保険制度は保険に項目収載してあれば、保険証一枚で日本国中、皆が等しく治療を受けられる仕組みである。しかし、高額な費用を支払ってでも治療を望む裕福な人々が、保険外でも自由に受けることが出来るとなれば、国は医療保険の負担を軽減するために保険収載に逡巡するであろう。そうなればいつまで経っても裕福でない人々は先進・高額医療から取り残されてしまう。本来であれば、高額医療であろうとも国民のためであれば、国は率先して保険収載し、万人が等しく利益を享受するようにすべきである。より良い医療を受けたいと思うのは裕福な人達ばかりではない。

日医は、上記のごとく混合診療は国民皆保険制度を破壊する、医療の格差が生ずると述べている。政府は混合診療を解禁しても国民皆保険制度は堅持する、形を変えて存続若しくは再生する等と言っているが、それは詭弁である。その、万人が等しく医療を受けられる国民皆保険制度を、偏った利益追求のために破壊すべきではない。一旦、壊れた制度を元に戻すことは不可能である。

したがって、国民皆保険制度を堅持すべき立場からは、混合診療解禁には反対である。会員諸氏も思いを同じくして混合診療解禁阻止にご協力を請う次第である。

(平成 26年 8 月 2日)

日州医談



自殺対策について

常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

1. はじめに

全国の自殺者数が平成 10 年に 3 万人を超えて以来、連続して高い水準で推移し、平成 15 年には 3 万 4,427 人まで達していたが、平成 22 年以降に減少し始め、平成 24 年には 2 万 7,858 人と 15 年ぶりに 3 万人を下回った。平成 25 年も引き続き減少傾向にある。

また、宮崎県でも自殺者数が平成 9 年に 300 人を超えて以降増加し、平成 19 年に 397 人となり自殺死亡率も全国ワースト 2 位を記録したが、平成 22 年以降からは減少しはじめ、平成 24 年に 277 人と 16 年ぶりに 300 人を下回り、平成 25 年は 256 人となった。

ここに来てようやく私たちの自殺防止対策も効果がみられつつある(図)。

2. 自殺対策の概要

国において平成 18 年 6 月「自殺対策基本法」が成立し、それを受けて、平成 19 年 6 月に「自殺総合対策大綱」が閣議決定され、目標として人口 10 万人あたりの自殺死亡률을平成 28 年までに平成 17 年の 30.6 から 20% 減少させることが掲げられた。

宮崎県でも平成 19 年 11 月に東国原知事を本部長とした「宮崎県自殺対策推進本部」が設置され、平成 20 年 6 月に「宮崎県自殺対策推進協議会」が発足し、「宮崎県自殺対策行動計画」が作成され、本県の自殺死亡률을平成 28 年までに平成 17 年から 25% 減少させるとの全国より高い目標が掲げられた。

今回、国で平成 24 年 8 月に第 2 期の「自殺総合対策大綱」の見直しが行われ、宮崎県でも平成 25 年 3 月に第 2 期の「宮崎県自殺対策行動計画」を発表し、県民を挙げて「自殺のない地域社会づくり」に向けて取り組み、より住み心地のよい宮崎づくりを目指し、引き続き自殺死亡률을平成 28 年までに平成 17 年から 25% 減少させる(30.6→22.9)ことを目標としている。

第 2 期の行動計画は、これまでの取り組みの課題や県民意識調査結果等を踏まえ、より地域の実情に応じたきめ細やかな対策を進めるために策定された。重点施策として、

『地域でのきめ細やかな取り組み』

- ・市町村単位で地域の実情を分析し、「地域の絆」づくりなど、地域に密着したきめ細やかな取り組みを展開
- ・地域の絆づくりを通じた「声かけ」や「見守り」など、中高年や高齢者層で問題を抱えた人に対する相談・支援体制の充実
- 『普及啓発・心の健康づくり』
- ・自殺予防や精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を推進
- ・ストレスへの適切な対応など心の健康の保持・推進のため、職場や学校、地域におけるメンタルヘルス対策を推進
- 『人材育成』
- ・様々な分野で、ゲートキーパーをはじめとする、自殺対策の核となるキーパーソンを育成

『児童生徒』

- ・ 児童生徒の自殺予防のため，子ども達を見守る環境づくりや命の大切さに関する教育，相談体制を充実

『自殺未遂者・自死遺族』

- ・ 救急医療施設等と連携を図りながら，自殺未遂者やその家族等に対する支援を充実
- ・ 自死遺族に対する相談支援の充実や情報提供の推進や相談体制の充実を図るとともに，地域における自助グループ等の運営を支援

『医療連携』

- ・ かかりつけ医と精神科医との医療連携体制を構築

『相談体制等』

- ・ 自殺防止電話等の相談体制の充実や，支援策，相談窓口等の分かりやすい情報発信が掲げられた。

3. 現状について

全体として

- ・ 宮崎県の自殺者数は減少傾向にあり，平成 25年度は 256人となった。男性が女性の 2.3 倍である。
- ・ 宮崎県の平成 25年の自殺死亡率は，前年度より 1.8ポイント減少し，22.9となった。全国では 9 番目(暫定)でまだ高い。
- ・ 40歳代～ 60歳代が多く，この年代で 50%以上を占める。
- ・ 男性は働き盛りの 30～ 60歳代が多く，女性は 70～ 80歳代が多い。
- ・ 全国では自殺死亡率は 50歳以上が低下傾向にあるのに対し，20～ 40歳代は上昇傾向にある。

原因・動機として

- ・ 原因・動機は宮崎県でも「健康問題」が 79%と最も高く，内訳は精神疾患が 52%，うつ病が 42%を占めている。次いで「経済・生活問題」となる。

- ・ 特に高齢者の自殺はうつ病・うつ状態との関連が深く，60～ 70%にみられる。

- ・ 原因・動機として，「健康問題」，「経済・生活問題」は減少しているが，「家庭問題」，「勤務問題」は減少傾向がみられない。

- ・ 完全失業率は，「経済・生活問題」や「失業」による自殺死亡率と強い相関関係がみられている。

- ・ 「家庭問題」では，「夫婦関係の不和」，「家族の将来悲観」，「家族の死亡」，「親子関係の不和」の順で多い。

- ・ 「勤務問題」では，「仕事疲れ」，「職場の人間関係」，「仕事の失敗」，「職場環境の変化」の順で多い。

- ・ ここ数年「勤務問題」による自殺死亡率は，20歳代において上昇し続け，全年齢の中で最も高くなっている。

一般の人の悩みや不安

- ・ 70%以上の人々が「悩みや不安」を持っている。
- ・ 内容としては，「老後の生活設計」，「自分の健康」，「今後の収入や資産の見通し」，「現在の収入や資産」，「自分の生活(進学，就職，結婚など)上の問題」および「勤務先での仕事や人間関係」の順である。すべてが緩やかに上昇している。

宮崎県のアンケート

- ・ アンケートによると，20～ 40歳代の 20～ 25%にうつがみられ，また 30%以上が自殺したいと思ったことがあり，若い世代に高いリスクがみられた。
- ・ 40～ 60歳代の男性では，相談して助けを求めることにためらいがあり，相談相手も少なかった。
- ・ 身近な人がうつ病であれば，80%の人が受診を勧めるが，自分だと 50%しか受診しようと思わない。

- ・ 2 週間以上不眠が続いたら「かかりつけ医」を受診するという人が多かった。

4. 課題について

「健康問題」への取組みは自殺対策の中でも最も基本的なことであり、以前からうつ病対策を始め多くの取組みが行われてきた。今後はさらなる医療連携が必要である。

特に、20 歳代の自殺死亡率が上昇傾向にありまた 20 歳代の死因のうち半数近くを自殺が占めるという深刻な状況を踏まえると、「勤務問題」のみならず、関連が深い「経済・生活問題」、「学校問題」、そしてこれらが引き起こす「健康問題」に対し、若年層への効果的な取組

みを早急に実施していく必要がある。

失業率の上昇などの景気悪化から自殺に結び付くこと自体が大きな問題であり、こうした経路を弱めるための総合的な経済対策などの取組みが望まれる。

5. 最後に

自殺対策は、自殺の危険性の高い人が社会から孤立している状況から、周囲の『人との絆』を回復するように導くことにある。そのためには、国をはじめとした様々な行政の施策や援助、現場でのサポートが必要である。

今後も皆様のご協力をお願いします。

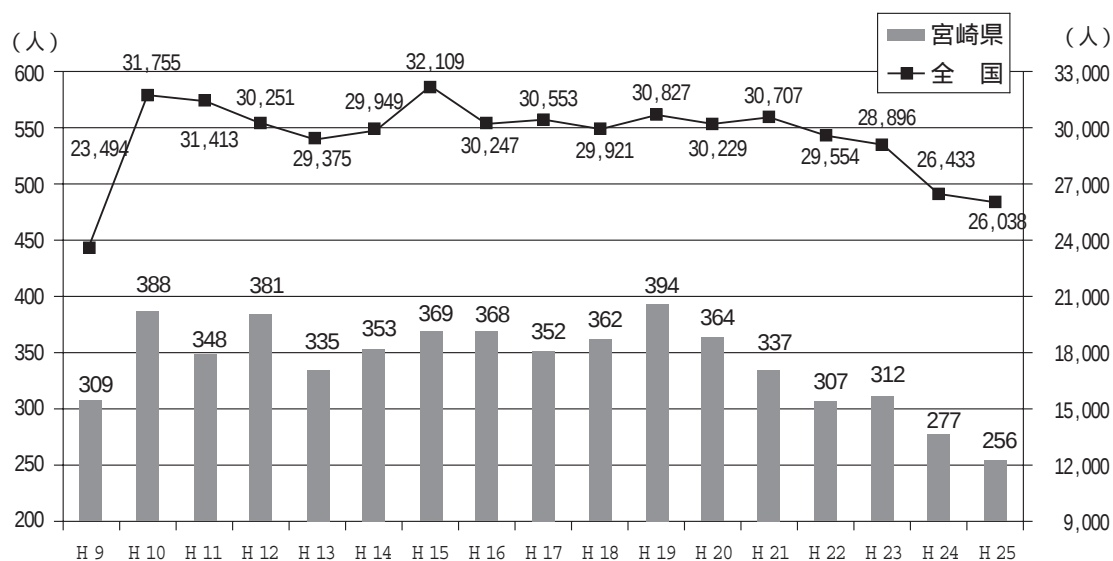


図 本県の自殺者の推移(平成 9 年～ 25 年)

はまゆう随筆

その3

(7 , 8 , 9 月号に分けて掲載いたします)

島廻り

延岡市 長沼医院 ながぬま 長沼 弘三郎 こうざぶろう

津久見駅から臼杵にトンネルを3つ過ぎると、右の車窓に津久見島がとんがらかって垣間見える。最近寝起きに、島が“おいでおいで”と手招きして誘ってくる。膝の痛みで山登りを躊躇しており、体が“代替行動”を求めてきたのだろうか。“きっと”日豊の島旅を思い立った。

木曜日の午後、浦城港から6kmの島野浦島に渡る。高台に福聚寺。一路の通りは2km足らず、トンネルをはさんで2つの港、小中学校、住宅等ひととおり納まっている。尾根の道すがら江戸期の観音石像を確かめながら標高186mの遠見山(とんばやま)、絶景のヒダラ松峠に至る。島のトレッキングと侮るなかれ、一周踏破すれば5時間を要す。空あり・海あり・山あり・歴史ありで退屈しない。おかげで島のお年寄りには居場所がある。日中から公園で三三五五集まり団らん。

土曜日に保戸島詣。津久見港から25分。海徳寺境内のおびたらしいお墓と海岸沿いの3階建の密集したコンクリート住宅に圧倒される。半周の舗装道路を経て登山口から標高179mの遠見山を急登す。山頂に旧中学校跡地の碑。古老曰く、戦後3年間はここまで登って勉強したと。小料理大川で“まぐろ丼”を食す。今日は柳田国男の“海南小記・穂門の二夜”を携え彼

岸の四浦半島から、100mの海峡越しに、島を仰ぎ見る。潮が悪くこれは、三途の川とサイノカワラか。

週末に津久見港から1日1便の高速艇で地無垢島に一人旅。一軒のみの民宿に素泊まり。島の人口は35名足らずで学校は数年前廃校。山道を“やぶこぎ”し、樅の密集した平坦な山の頂上に至る。南に保戸島をゆらぎの中に遠望。船溜まりには小アジが群となってゆったりと手元で泳いでいる。対して岸壁のフナムシは何と素早く数が多いことか。海をはさんで東に無人の島山(沖無垢島)が太古のままのシルエットで屹立。朝はウグイス・カモメの鳴き声と潮騒。

連休に満を持して姫島に渡る。内田康夫の「姫島殺人事件」を読んでからの望みであった(下地に昭和3年の姫島リンチ殺人事件)。年配の乗船者は「島はぼくらと」(辻村深月)を小脇に、自分は“旅情ミステリー派”で冴えていない。姫島七不思議や観音崎の黒曜石・姫島盆踊り(キツネ踊り)等ですでにあかぬけた観光地ではあるが、早朝登った標高266mの矢筈岳からは古刹海岸寺が遠望され、満艦飾の山桜で彩られた山肌に似つかわしい。

見ると聞くとは大違い。島々は何よりも人々とお墓とお寺が混然と津津浦浦の風景の中にとけこんだ曼荼羅図。“なーんにもないところ”どころではなく、“なんでもあり”の地上の“小宇宙”なのだったのです。“たのしみは 意にかなふ 山水の あたりしづかに 見てありくとき”

(橘曙覧 独楽吟)のころもちで、日豊の残りの小島(大入島・大島・屋形島・深島)をのんびり、ゆっくりとさるこう。

屋上ガーデンにて

日南市 北村胃腸科眼科 きた むら けい こ 村 恵 子

2005年、3階にある我が家のベランダは、殺風景のグレー色の風景から屋上ガーデンに変わり、バラのパーゴラに世界中で最も人気の高いピエールド・ロンサールをはじめ、イングリッシュローズのグラハム・トーマス、パット・オースチン、初代モダンローズのラ・フランスその他合わせると60品種以上のバラを植えています。4～5月頃は、1年のうちで一番バラがきれいな時期で、庭全体が色鮮やかに咲き誇ります。オールドローズやモダンローズ、イングリッシュローズと、その香りも様々です。春先になると鳥が番でやってきて、壁の文字看板の裏に巣を作り、我が家のさくらんぼは、食べられてしまいます。ブルーベリー、ジューンベリー、フェイジョア、グミ、柑橘系、ムベ、パッションフルーツ、ブドウなど6～7月から秋までハーベストしてジャムやお菓子を作ったり、果物ジュースに生で入れたり味覚も楽しめます。子供が小さい時は一緒に取ったのに最近付き合わないの、チョット淋しい感じもします。子供が小学

校の頃、学校から2匹のウサギをもらってきて、ショコラとミルキーと名をつけ暫く飼っていたこともありまして。暑い夏の日、子供たちがウサギの息が荒く、熱中症で死にそうだと慌ててやってきて、夫が救命処置をしてあげたこともありまして。今は7歳になるコーギー犬が、庭でのんきに暮らしています。冬になると近所にあるレストランや夢見公園に協賛して我が屋上ガーデンにもイルミを飾り、12～1月にかけて夜のライティングで辺り一帯が賑やかになります。夏の暑い時期の水やりや剪定、虫予防に草むしり、主人のメタボ対策に役立っていますが、庭をよく手入れしてくれることを感謝しつつ、次にどんなバラを選ぼうかと理想の“夢の屋上ガーデン”に空想をめぐらしながら、夫婦談義にいろいろ花を咲かせる今日この頃です。

カット

職人化と組織化

宮崎市 宮崎大学医学部 ふじ い よし ろう 藤 井 義 郎

ブラジルのワールドカップサッカーで日本代表がグループリーグで敗退すると、その敗因は今までいわれてきた個の力不足ではなく組織として目指した戦い方ができなかったことであるという論調が強いようです。私が病棟医長の役職に就いてから2年が過ぎ、病院内の様々な会議に出るようになって感じることは、組織化を

重視しなければならなくなったということです。医師という専門職は若い時分より独自のスキルを上げるべく努力し徹底的にレベルアップすることを目標に行動しているわけですが、その行為そのものは組織化とは相反するものです。特に外科という専門科では手術が上手になることが目指す標準的な職人化であり、上手な手術とは手術時間を短く出血量を少なく意図的に根治的な癌切除を行うということに他なりません。そのため医療制度や経営，事務的な方法論は，職人的スペシャリストを目指している医師にとっては邪魔物で，ましてそこに時間を割かれることは苦痛以外の何物でもありません。ところが病院という組織の中の一員である以上，専門家から組織者へ移行する段階で，自己完成論理から奉仕の論理に変えていく必要が出てくるということを誰も教えてくれません。プロとして一流を目指すことに価値を見出している医師にとってそれを妨害されることは許せないわけで，自己犠牲の論理は通常，理解できません。それではどうしたら組織化の必要性を中堅の医局員たちに理解してもらえるかを考えていますがなかなか答えは見つからないのが現状です。先の手術に関していえば，全ての熟練の技を完成させた段階がゴールではなく，それを弟子に伝えて初めてマスターであるということが一歩前の組織化なのだと思います。その方法論を学ぶ機会を与え，当面は粘り強く伝えていくしかありません。あるいはうまく伝わらないのは，私自身がまだスペシャリストに未練があって組織化の必要性を強く認識していないからなのでしょう？

国際緊急送金詐欺

宮崎市 宮崎江南病院 かきつばた よう すけ 杜 若 陽 祐

ギリシャの友人からメールが来た。“学会でイギリスに来ていてタクシーに財布の入ったバッグを忘れてしまった。明日中にホテルに支払いをしなければならないので，Western Union money transfer(W U M T；国際送金)を介して，すぐに2,500ドルを送ってほしい”という内容であった。

メールは友人のアドレスで間違いなく，イギリスの学会に行く可能性もあった。しかし，英語の文章がやけにうまいこと，文頭が“Hi”で始まること(いつもはDear Yousuke)，などから，少し怪しい気がしたが，困っている友人を助けたいという気持ちも強かった。

職場の友人に話すと，それはインターネット詐欺ですよと，一笑に付せられたが，とりあえず送金方法を考えることにした。ネットで調べると，当時日本でW U M Tが可能な銀行はスルガ銀行だけであった。しかし，銀行に問い合わせるとその年の1月にサービスが終了しており，結局送金できなかった。その後，どう連絡しようかと考えていたところ，5日後に“自分はずっとギリシャにいる，メールアカウントを盗まれて，金を送れと言う偽のメッセージが友人に送られている”，との本人からのメールが届き，ことの真相が判明した。ネットによるとW U M Tを悪用した詐欺は国際的に多発しており，米国のネット通販会社ではW U M Tを介した支払いを認めていないところもあるらしい。

メールの最後の文章には，“After you have send the money，中略，so that I can pick

up the money fast and leave. I will be really appreciated.”とあり，お金を受け取って，したり顔で逃げ出す詐欺師の様子が眼に浮かぶ。このような詐欺に会わないためには，いつもと違うという“感”が大切なのだと感じた出来事であった。

若い女性のタバコ問題

日南市 たなか産科婦人科 クリニック たなか しげき 樹

最近，診療していて気になることは，若い女性の喫煙が多いことです。特に，生殖年齢の 20 代から 30 代に多くみられます。妊娠して来院されるかたの約 19% に喫煙者がおられます。妊娠したらタバコはやめようとされる方は多いのですが，実際に，やめることは難しく分娩時や授乳時にも吸っておられます。やはり，違和感がありますし，実際問題タバコのにおいのする妊婦さんや授乳婦さんをみるとゾッとします。統計を見てみますと，男女の全年代を見ても，男性はすべての年代で喫煙者が減少しています。しかし，女性の若い年代だけは増加しています。心配なのは，胎児や赤ちゃんにタバコの影響が残っていく可能性があることです。実際には，未熟児が多くなり，出産後も体重の増加が悪かったり，なんにでも怒り出す子供になった

り，最も怖いのは，乳幼児突然死症候群になる可能性が高いことです。せっかく元気に生まれた赤ちゃんが，朝起きたら呼吸をしていなかったなどの体験例を聞くとどうして防げなかったのかと，本当に残念に思います。

また，タバコに含まれる発がん物質がどのように子供に影響するのかはまだわかっていませんが，将来いろいろな病気の原因となるのは間違いないと思います。しかし病気になってからでは間に合いません。

そこで，私が実際に妊婦さんに話しているのは，喫煙すると赤ちゃんが未熟児になること，そして，怒り出したら手が付けられなくなる子供になること，がんなどの病気にかかる可能性が高いことなどを話します。そして，少しでもタバコの本数を減らすことや，禁煙してもらうようにしています。ここで，大切なのはご主人や家族友人を巻き込むことです。ご主人も一緒に禁煙するとかなりの確率で成功します。妊婦さんもお主人も赤ちゃんのために長生きしたいでしょうと話すと，本気になってくれる方がいます。周りの家族や友人に禁煙することを宣言すると，もしも吸っているときには注意してくれるため禁煙する確率が上がります。何せ自分の意志でやめるのは難しいし，意志が強ければとっくの昔にやめていると思います。

また，妊婦さん以外でも，私が外来で女性の患者さんにタバコの害を話すときには，もちろん，肺がんや胃がん，子宮がん，卵巣がん，大腸がんなどになりやすい事を話します。また，肺気腫，心筋梗塞，脳梗塞などの確率も上がることなど丁寧に説明します。避妊用のピルを希望されてこられた方にもタバコとのリスクを話して禁煙をするように話します。しかし，若い

方にはピンときません。そこで、女性の心に最も響く言葉をかけます。それは、『長年タバコを吸うと年齢よりも老けて見られますよ』です。『そして、顔のシミ、シワが増えて、歯も悪くなり、体から嫌な臭いがしてきますよ。同窓会に行ったら、タバコを吸わない方とくらべると、10歳は老けて見られますね。人より年に見られたらいやでしょう』言い過ぎかもしれませんが、このくらい言わないとわからない方がいます。

ただ、大事なのは、患者さんに禁煙しろとだけと話しても、自分が吸っていたら全く説得力はありません。やはり、医療者としては、まず、自分の健康を維持していなければ人の健康を見ていくことはできません。医療従事者自身がタバコは吸わないことです。喫煙者はまず自分から辞めて患者さんにお手本を見せることです。今は、禁煙外来や市販の禁煙グッズなどいい方法がいろいろあります。思い立ったがその時です。自分の健康のため、家族のためです。そして、県民の健康を守るために頑張りましょう。



診察室の落とし物

高鍋町 大森内科医院 おお もり ふみ ひこ
大 森 史 彦

1日に何十人も、入れ替わり診察室にお迎えますが、それだけ人の出入りがあるというい

ろなものを落としていかれます。忘れ物もあります。一番多いのは毛髪です。若い女性の長髪、老人の白髪、短い髪の毛などいろいろです。胸腹部の聴診、触診をするためシャツをたくし上げるので、明らかに陰毛と思われるものも落ちています。毛髪が落ちてると不潔に見えます。次においでになる患者さんが不快に思わないよう、見つけ次第私がセロテープでせっせと拾い集めています。ホテルの部屋でも病室でも同じでしょうが、前の利用者の痕跡を残さないようきれいにしておく必要があります。毛の次に多いのは服の繊維です。もじゃもじゃ固まったもの、長い糸、これも千差万別です。子供さんのおもちゃも時々おいていかれます。

2年外来診察をやっていて、一番驚いたのはムカデです。冬のある日、ご婦人に、では診察しましょうと服をめくると何かがぽんと椅子の下に落ちました。みると10cmはあろうかというムカデ。私も驚いたけど、一番驚いたのはムカデ自身でしょう。必死に部屋の隅に逃げています。かまれるといけないので従業員総出で大捕物をしてやっとの思いで捕獲しました。後にも先にもあれほど驚いたことはありません。運んできたご婦人はきょとんとしているだけでしたが。

以前のはまゆう随筆で、赤い鳥の復活コンサートをしたいと書きましたが、もう叶わぬ夢となりました。創立メンバーの一人山本俊彦さんが、今年3月28日虚血性心不全でなくなったのです。今は赤い鳥メンバーの直筆色紙を眺めながら懐かしい曲をCDで聴く毎日です。

伊勢神宮，式年遷宮

- 後世に残すべきものは -

宮崎市 福元医院 ふくもと こうじ 福元廣次

5 月連休中の 3 日に伊勢神宮へ行って来ました。今回初めてです。神宮は昨年，式年遷宮で新しい社になり，連休と重なって大勢の人で賑わっていました。それもそのはず，式年遷宮の翌年は「おかげ年」と言われ，神宮の御利益が最大限に授かるそうです。この遷宮は 20 年に一度，神宮内建物全て，社殿はもちろん鳥居まで新調され，御神体を新宮へ移す祭りで 1,300 年以上前に始まり，これまでに 6 数回実施されています。

鳥居，社殿はほぼ統一された白木で，自然の中に見事に調和している感じです。新しい正宮の隣にはそれまでの旧正宮があり，20 年間の風雨により屋根や柱は茶褐色になり，次の遷宮の準備でまもなく取り壊されます。神宮の中には，近所の神社でよく見かける朱塗りの鳥居や建造物は一切見つかりません。朱色は水銀を原材料とし古くから木材の防腐剤として使われているそうです（朱色に災厄を防ぐ意味もある）。しかし，20 年に 1 度遷宮する伊勢神宮では木材に防腐剤を使用し，長期間に保存するという目的は無いようです。

遷宮には約 570 億円の経費がかかっている。この費用は立派な建物を後世に長期間残すためではなく，使用する木を育て，木材を保存し，建造技術を継承する人材のために必要な金額である。20 年に一度あれば，建造に従事した人が次の遷宮時には中心的人材となり，その次には指導的立場になれるという具合なのでしょう。後

世に残すべき物は建造物でなく，その技術の継承であり，後継者を育てる環境と感じました。

医療においても，患者さんに接する問診や触診・視診を含めた診察技術の継承は重要で，直に先輩医師を真似てかつ学んで受け継がれていると思います。機器の発展に伴って病気の解明や治療法の革新は進んではいますが，人から人へ伝えるべき「技」こそ後世に残すべきものと，このパワースポットで感じさせられました。

飲酒後の副産物

宮崎市 おおさこ耳鼻咽喉科 おお さこ ひろ と 大迫廣人

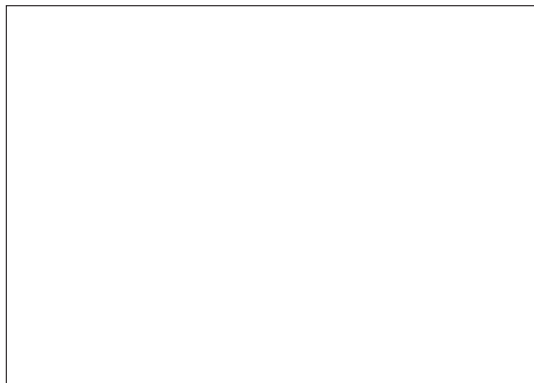
今春 3 月に市郡医師会の健診センターで行われる年 1 回の健診に出かけた。受付のカウンターにいつもと違うパンフに目が留まった。採血ではなく口腔内を綿棒で擦るだけのアルコール感受性遺伝子検査だ。少々割高だったが，申し込むと後日送られてきたグリーンカードには“ つい酒の量が多くなり飲みすぎに注意しましょう。アルコール依存症になりやすいタイプ ” と記されていた。遺伝的に少しはお酒が飲める方かなと思っていたがこの種の証明書？をもらおうと改めて深酒に気を付けようと思う次第である。

さて，飲み会に誘われて全く飲めない方は少しでも付き合おうと嘔気，悪心など気分の悪さは たと 警えようもないらしい。酒に弱い方でも度を超

すと必ず翌日悪酔いをしてしまう。彼らはアルコール分解酵素が欠乏しているためにアルコールからアセトアルデヒド、そして酢酸へ分解が滞り体内に蓄積するのが原因だ。

開院しても耳鼻咽喉科という仕事柄、頭頸部の癌患者を目にすることは少なくない。その中でもアルコール飲酒と関係する下咽頭癌は一般的に予後が悪い。特に飲酒後に赤くなる方は要注意だ。話を海外へ移すと寒冷地ロシアでは暖を取る目的で酒ウオッカをたしなむ習慣がある。最近の地元新聞では人口の 25%が 55才未満で死亡と報道された。イギリスのそれは 7%、約 4 倍に近い。もちろん平均寿命も 64才と低く疾病としては肝臓癌、咽頭癌が目立つ。早速ウオッカを自粛しようと国を挙げての御触れが出た次第だ。

入社間もない若者や大学生にぜひお願いしたい。それは、アルコール感受性遺伝子の結果が完全下戸タイプ(レッドカード:日本人の約 9.5%)ならばぜひ服のポケットに入れて新入歓迎会やコンパに出席してもらいたい。下戸だと周囲のものが納得いくように。無理して飲酒することがないように。過去に悲しい事故が近隣の医学部でも起こったことは忘れられぬ事実だ。



私の趣味

都城市 ながながはま整形外科 なが長 はま濱 あき彰 のぶ宣

植物はむずかしい。

開業以来 1年目となりました。庭だとか樹木、草花など全く興味なかったのですが、クリニックの空きスペースに植栽をして以来はまってしまいました。

毎週日曜日朝 8 時都城市大岩田、年二回の宮崎神宮、春都城神柱公園の植木市に通いつめました。業者さんとも顔見知りになり、本に書いてない知識も得て、木の特徴、良し悪し、自分の好みをようやく分かってきました。気に入って買ってきては、残念ながら何本も枯らしてきました。花水木の老木、紅もみじ、三つ葉つつじの老木、岩つつじ、深山霧島、ケラマつつじなど数えきれません。夏場は診察後散水に約 1 時間を要します。がんばってるつもりですが、気候が悪いのか、管理が悪いのか、植える場所が悪いのか今も苦戦しています。特に岩つつじと深山霧島は可憐な花と樹形に魅せられて買ってくるのですが、失敗を繰り返しております。どちらも、本来高山に自生するものだから都城の夏の暑さが適さないのだろうと自分を慰めています。ただ、毎年桜の咲く少し前、近所で淡い紫～ピンクの花で満開の岩つつじの老木を目にすると感心するとともに羨ましくもあります。

現在は山紅葉、山法師、桂などの落葉の高木の下に、ケラマつつじ、本霧島、佐多つつじなどの常緑と岩つつじなどの落葉のつつじなどを配し、やぶこうじ、クリスマスローズなどの山野草で足元を覆っています。雑草が生えるスペースをできるだけなくすように心がけています。

落ち葉掃除もほとんど不要です。春は新緑に紫，ピンク，紅色の花が咲き乱れ，夏は涼しげな木陰を，秋は紅葉，冬は明るい庭にクリスマスローズが彩りを添えます。

季節の変化を感じながら，庭の成長を見守る楽しみを大事にしていきたいと願っています。

人生の分岐点

延岡市 谷村病院 きの した よし み
木 下 義 美

医師になって 43 年になる。この年になると過去を振り返ることも多い。私が医師になった昭和 46 年(1971 年)は学園紛争の末期で，学生，若手医師の要求でインターン制度が廃止され，大学院が消滅していた時期であった。旧研修医制度が開始された時期でもあり，私達は 1 年間の研修医生活の後，希望する医局に入局した。私は内科に入局したが同期は 1 名が入局した。丁度その年より総定員法なるものが発令され，大学に残れるのは 5 名とされた。そこで交替で残りのものが関連病院に出向することになった。いわゆる外勤である。卒業 3 年目にさっそく外勤の医局長命令があった。

最初は私の出身地である熊本県八代市の熊本労災病院へ出向してほしいとのことであった。その準備をしていたところ「熊本労災病院へは他の人に行ってもらうことにしたから君は水俣市民病院へ行ってくれ」と言われた。そこでその準備

をしていたところ，当時の宮崎県立延岡病院院長の故船渡護先生が医局に来られ医師派遣を要請された。そこで「度々変更してすまないが君は延岡病院へ行ってくれ」と言われ，縁もゆかりもない延岡へ行くこととなった。

当時私はまだ 26 歳の若さであった。どこで仕事をしようと大して変わりはないと思っていた。しかしこのことが自分の人生を決めてしまうことになったのであった。

県立延岡病院に赴任してひょんなことから，一人の女性と知り合うことになり何となく結婚するはめになってしまった。

そして，これも何となく昭和 52 年(1977 年)に現在の谷村病院に入り一人で内科診療に従事することとなり現在に至っている。

あの時船渡院長の要請がなければ私は宮崎県に来ることはなかったであろうし，全く別の人生を歩んでいたはずである。本当に人生とは不思議なものである。

それで「今あなたは満足ですか，幸せですか」と聞かれると多少の迷いがある。

「過去を後悔するのは，今の自分が幸せと感じていないからである。それは現在の自分の生き方，考え方に問題がある」とある心理学者が言っていた。

まあ，自分の人生はこれでよかったのだとしておこう。妻が自信たっぷりに「あなたは私と結婚したから幸せなのよ」と言った。そうだろうか。そうかもしれない。いやそうであってほしい。

お知らせ

平成 26年度日本医師会認定医療秘書養成制度
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

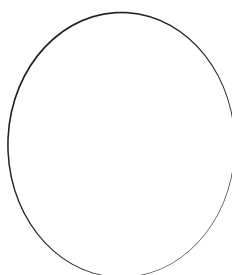
宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 18名 (女 18名)	就職希望者 16名 (男 1 名, 女 15名)	就職希望者 11名 (女 11名)
連絡先: 0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙 1415 担当: 佐土原 敦 倉永 愛子	連絡先: 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当: 平島しおり 福元 進	連絡先: 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当: 吉原真由美 中山さおり

叙勲・祝賀

旭日双光章

おお つか なお ずみ
大 塚 直 純 先生（西 都）

春の叙勲において旭日双光章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

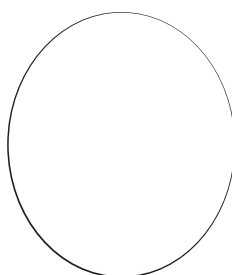


大塚 先生

瑞宝小綬章

うち むら しげ よし
内 村 成 良 先生（西 諸）

春の叙勲において瑞宝小綬章を受章されました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



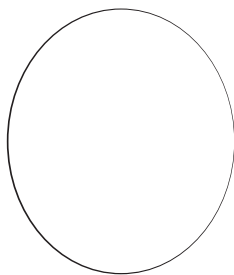
内村 先生

表彰・祝賀

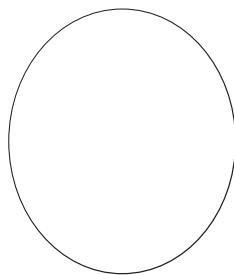
医療功労により県知事表彰

みな 皆	うち 内	やす 康	ひろ 廣	先生（宮崎）
ひら 平	た 田	むね 宗	かつ 勝	先生（都城）
と 戸	しま 島	のぶ 信	お 夫	先生（延岡）
たか 高	はし 橋	まさ 政	み 見	先生（児湯）
さ 佐	とう 藤	ゆき 幸	のり 憲	先生（西都）

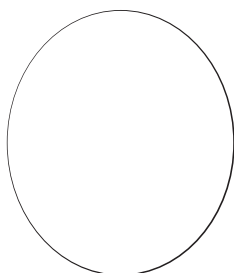
6 月 21日，県医師会において医療功労者として県知事表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



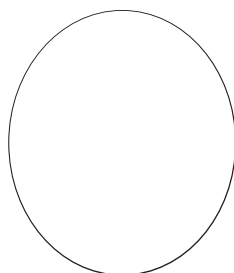
平田 先生



戸島 先生



高橋 先生



佐藤 先生

各郡市医師会だより

延岡市医師会

会 長 よし だ けん せい
吉 田 建 世

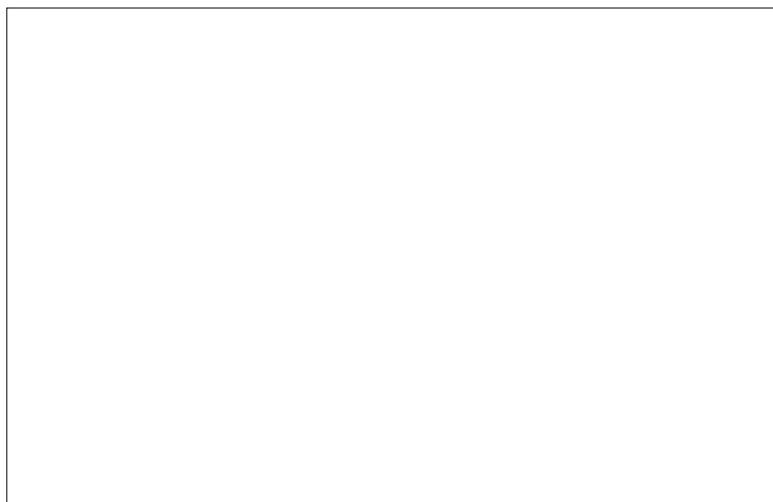
平成 26 年 6 月 26 日の第 20 回定時総会後の理事会で、私・吉田建世が会長に、佐藤信博先生、平野雅弘先生が副会長に選定され、正式に新執行部が発足しました。前牧野剛緒会長の後任としての重責ですが、頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

前執行部から日高孝紀先生、赤須郁太郎先生、宮本義明先生、溝口直樹先生に残っていただき、新しく山口哲朗先生、高橋博和先生、今田真一先生、金井一男先生、榎本雄介先生に理事として加わっていただきました。今回役割として、在宅医療担当と災害医療担当を増やしました。また監事には、藤本孝一先生にお残りいただき、佐藤靖美先生と岡村公子先生に新しくご就任頂いております。

現在、延岡市医師会においても様々な課題を抱えております。例えば、延岡市の救急医療体制を担っていただいている会員の先生方の年齢が高くなってきていて、今後存続も危ぶまれる事態も予測されること。またその中で、日向市東臼杵郡医師会と一緒にやっている広域の小児科日曜祝日在宅当番医制度において、これまで 12 名の先生方で行っていたものが、今年の 7 月から高齢等を理由に 3 名の先生方が辞退され、運営がたいへん厳しくなったこと。延岡市急病センターの後方支援病院である延岡市医師会病院が、医師不足、看護師不足もあり、今年 4 月の診療報酬改定で 7 対 1 看護から 10 対 1 看護への看護基準の変更を余儀なくされ、運営がますます厳しくなっていること。延岡市にある聖心ウルスラ学園高校に看護科ができ、今後当医師会運営の延岡看護専門学校との競合が予想される事など多くの課題があります。これらの課題を解決していくには、私たち医師会の先生方全員が連携して、問題意識を共有し、一致協力して対応していかなければなりません。

そういう意味でも、今期の第 1 の目標に、『延岡医師会員（職員を含む）の連携・協力の推進』を掲げました。そのためには、「お互いに顔と顔が見えて、意見が言える関係づくり」を行っていくつもりです。第 2 に『救急医療体制の充実』と、第 3 に『医師会病院運営の健全化の推進』を掲げました。

宮崎県医師会員の皆様には何かとご迷惑をお掛けすると存じますが、これからご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



延岡市医師会新役員

役 員 等 名 簿（任期 平成 26年定時総会終結時～平成 28年定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所 属 医 療 機 関	担 当 業 務
* 会 長	吉田 建世	精神科，神経科	吉田病院	統括，渉外，県医師会常任理事
副会長	佐藤 信博	整形外科，麻酔科， リハビリテーション科	あたご整形外科	県医師会理事，看護学校，総務
* "	平野 雅弘	内科，消化器科， 胃腸科	平野消化器科	救急医療・急病センター，地域医療， 医療行政，医事紛争，庶務
理 事	日高 孝紀	内科，消化器科， 小児科	北方医院	心臓検診，医療情報システム
"	赤須郁太郎	外科	共立病院	医療保険，看護師研修講座，災害医療
"	溝口 直樹	内科，胃腸科， 呼吸器科	みぞくち医院	医師会病院，労務対策
"	宮本 義明	整形外科，リウマチ科， リハビリテーション科	宮本整形外科	会計，広報
* "	山口 哲朗	呼吸器科，内科	県立延岡病院	学術，生涯教育，勤務医部会
* "	高橋 博和	外科，内科，整形外科	高橋医院	公衆衛生，健康教育
* "	今田 真一	内科，消化器科	いまだ内科・消化器科	生活習慣病，腎臓検診
* "	金井 一男	整形外科， リハビリテーション科	延岡リハビリテーション病院	文化厚生会員福祉，学校保健，産業医
* "	榎本 雄介	外科，内科	大貫診療所	介護保険介護福祉，在宅医療
監 事	藤本 孝一	内科，小児科	藤本内科小児科医院	
* "	佐藤 靖美	内科，胃腸科， 呼吸器科	佐藤内科医院	
* "	岡村 公子	内科，皮膚科	岡村病院	
議 長	木下 義美	内科	谷村病院	
副議長	川名 修徳	皮膚科	川名皮膚科	

*は新任

各都市医師会だより

日向市東臼杵郡医師会

会 長 わた なべ やす ひさ
渡 邊 康 久

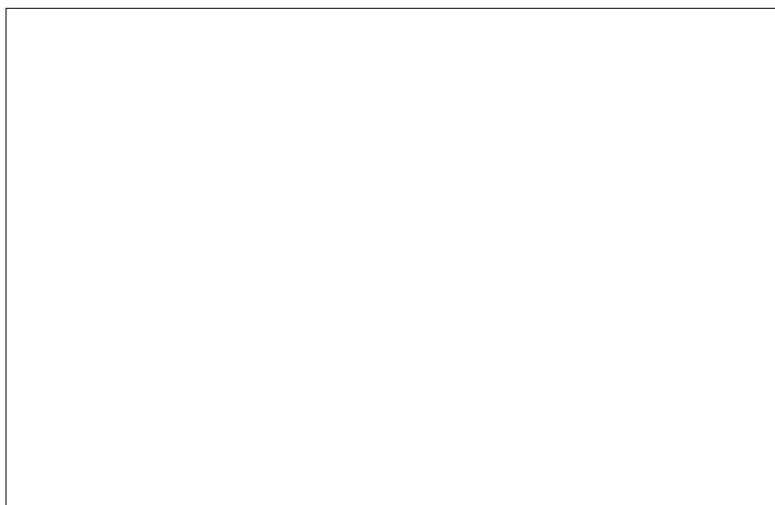
4 月 12 日臨時総会において役員改選が行われ、3 期目の会長職に就任いたしました。今回初めて女性の理事も誕生し、新しい視点での意見も出されると期待しているところです。当医師会の理事選挙は、得票数により少なくとも 3 人の理事が入れ替わる選挙規程になっています。今回も、新たに理事経験のある先生 1 名と、理事未経験の先生 2 名が選任されました。監事につきましても 2 名のうち 1 名が新たに選任され、理事会も新体制でスタートしたところです。

現在当医師会は、A 会員 48 名・B 会員 54 名合計 102 名の会員となっています。実施事業としては看護学校事業、在宅サ・ビス事業、各種検診事業を行っています。他にも日向入郷市町村の委託事業として、時間外救急診療事業（初期救急診療所事業、日曜祝日在宅当番医事業）を行っています。小児の在宅当番医事業については、平成 24 年度から延岡市医師会と広域で取り組んでいます。各事業とも会員の先生方の御協力により円滑に運営されています。

一昨年から、新たな事業として在宅医療協議会を立ち上げました。在宅医療をいかにして構築していくかあれこれと知恵を出してもらっています。また、在宅医療ネットワーク推進事業として県の助成があり、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護福祉士、保健師、社会福祉士等による多職種研修会を開催しています。研修会は、顔の見える関係の促進を第一にして開催し、勤務終了後ではありますが毎回 120～130 名の方々に参加していただき、交流を深めてもらっています。今年度で 3 年目に入りましたので、具体的な成果をあげられるよう取り組んでいく所存です。

当医療圏は、少子高齢化が急速に進んでおり、医療を取り巻く環境も大きく変わりつつあります。昨年度の県医療計画策定時には、医療圏の見直し対象圏となる等非常に厳しい状況がありました。会員全員が地域の医療に対する安心・信頼を確保するためには今後も現医療圏を維持することが重要であるとの認識です。地域医療をこれ以上崩壊させないために、次回策定を見越して機会あるたびに現状維持を要望していきたいと思っています。

最後になりましたが、今期も会員各位のご協力を得ながら一つずつ課題解決に力を注ぎたいと思っています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



日向市東臼杵郡医師会新役員

役 員 等 名 簿（任期 平成 26年 6 月 14日定時総会終結後～平成 28年 6 月定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所 属 医 療 機 関	担 当 業 務
会 長	渡邊 康久	内科，泌尿器科	三股病院	会務全般，医師連盟委員長 看護高等専修学校校長 看護学校周年記念事業実行委員長 看護学校教務委員会委員長 法制委員会委員長
副会長	青柳淳太郎	内科，循環器内科	青柳内科循環器科	総務，看護高等専修学校副校長 看護研修会，在宅医療協議会委員
"	古賀 正広	内科，消化器内科 胃腸内科	古賀内科胃腸科	総務，医事紛争，医師会会計 医療事故審査会委員長 人事給与委員長，医師連盟副委員長
* 理 事	和田 徹也	外科	和田病院	医療保健，会員福祉，産業医
"	三股 俊夫	外科，内科 消化器内科	三股病院	介護保険，特定検診委員長 かかりつけ医委員長 在宅サ - ビス運営委員長 在宅医療協議会委員
"	金丸 吉昌	内科，呼吸器内科 循環器科	西郷病院	県医師会理事 在宅医療協議会委員長
"	千代反田晋	外科，循環器内科 消化器内科	千代田病院	救急医療，災害時救急医療 医療関係者対策，外科医会幹事
"	尾崎 峯生	眼科	尾崎眼科	学術生涯教育，健康教育，広報 情報システム
"	今給黎 承	内科，循環器内科	今給黎医院	在宅当番医，初期救急診療所 心臓検診委員長，内科医会長 時間外救急診療対策委員長
"	鮫島 貴	整形外科	鮫島整形外科	地域医療，地域包括支援 成人保健（がん検診）
* "	長田 浩伸	整形外科，リウマチ科 リハビリテーション科	長田整形外科	小児保健，学校医
* "	松岡 敬子	内科，精神科 心療内科	松岡内科	公衆衛生感染症，予防接種 医の倫理向上，自浄作用
* 監 事	白石 正浩	内科，呼吸器科	白石病院	
"	椎葉 睦生	整形外科，内科 リハビリテーション科	天生堂医院	
議 長	大久保史明	外科，消化器内科 肛門外科	大久保外科胃腸科	
* 副議長	瀧井 修	精神科，内科	瀧井病院	

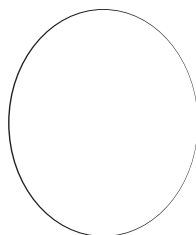
* は新任

エコー・リレー

(46 回)

(南から北へ北から南へ)

あこがれの熟成肉

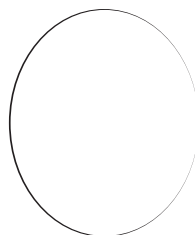
宮崎市 稲倉医院 いな くら たく や 稲 倉 琢 也

最近、熟成肉がブームになっています。日本では霜降り肉信仰が根強いですが、欧米ではステーキといえば熟成された赤身肉です。熟成のことをエイジングとも言いウエットエイジングとドライエイジングがありますが、最近ブームなのがドライエイジングです。これは 1 前後の温度と 70~ 80% の湿度で一定に保たれた保管庫内で風を循環させながら 40 日程度熟成させるやり方で、余分な水分が抜け、微生物の働きで旨味成分のアミノ酸が増し独特の香りがつくそうです。ある研究機関の報告では旨味は 10 倍、風味は 5 倍、柔らかさは 2 割増しとなったそうです。私も昨年、福岡の平尾にあるブッチャーという店で熟成肉のステーキを食べてその味と香り、美味しさに感動しました。ドライエイジングの肉は熟成に時間がかかることやカットする際に表面のカビや乾燥した部位を削るためにコストがかかり日本ではあまり行われていませんでした。しかしながら最近、NY の高級ステーキ店のウルフギャングステーキハウスが六本木にオープンし、また虎ノ門ヒルズにも熟成ステーキで有名な但馬屋(本店は大阪)が入っていますので是非一度食べに行きたいと思っています。ちなみに宮崎でもステーキハウスアングスでパイン牛サーロイン(赤身肉とは言えないかもしれませんが)の熟成肉を食べられます。

サシの入ったサーロインや柔らかすぎるヒレが苦手な皆さん、一度熟成ステーキを試されてはいかがでしょうか。

[次回は 宮崎市の岩崎 直哉先生にお願いします]

見ずして揉むなかれ

宮崎市 All About Breast まち だ えいいちろう
乳腺外科クリニック 町 田 英一郎

エコーリレーと聞いてすっかりエコー(超音波検査)に関する話題と勘違いしておりました。でも折角なのでエコーの話をちょっとだけ。

開業してから良性疾病をみる機会が増えてきました。そのなかで特に増えているのが

乳腺炎です。授乳経験がある女性でしたら 1 度は経験するような疾患です。

逆にありふれた疾患であるが故にあまり注視されず、間違った対応をされて増悪し、受診される方が後を絶ちません。乳腺炎は産褥期に多く見られます。

乳腺炎の経過には大きく分けて 3 段階あり、1 . 乳汁うっ滞期、2 . 乳腺炎初期、3 . 膿瘍形成期、と、それぞれ特徴があり、異なった処置が必要となります。

乳腺炎の急性炎症時や膿瘍形成期に過度なマッサージを受け、乳房全体に炎症が広がり、膿瘍が分散するケースをしばしば経験します。

ひどいケースだと治療に数か月かかり、乳房に多数の切開創と硬結、心に大きなしこりを残します。このような状態にならないためにもまずはエコーで診察することを強くお勧めします。授乳期の乳腺の評価は大変難しいですが、少なくとも膿瘍を乳瘤と勘違いし、揉み広げることは避けられます。

そしてなりより怖いのが授乳期の乳癌です。高齢出産が増えるなか、一度も乳がん検診を受けないまま授乳を迎える女性がいます。乳癌のしこりを乳瘤と勘違いし、お金を払ってマッサージを受け、癌をまき散らしているケースがあることをご存知でしょうか？しこりを見つけたらまずはエコーでしょう！

[次回は 宮崎市の下村 直也先生にお願いします]



あなたできますか？

— 平成 25年度 医師国家試験問題より —

(解答は 75ページ)

1 . 発熱がみられるのはどれか。

- a 前置胎盤
- b 細菌性膣症
- c 子宮頸管炎
- d 絨毛膜羊膜炎
- e 胎盤機能不全

2 . 関節痛を伴いやすいのはどれか。

- a 尋常性乾癬
- b 尋常性痤瘡
- c 尋常性白斑
- d 尋常性魚鱗癬
- e 尋常性天疱瘡

3 . ショックを呈する成人外傷患者において、第一選択となる輸液路はどれか。

- a 鎖骨下静脈
- b 肘正中皮静脈
- c 手背静脈網
- d 大腿静脈
- e 脛骨骨髄

次の文を読み、4、5の問いに答えよ。

68歳の女性。両下腿のむくみを主訴に来院した。現病歴 1か月前から遠方に住む娘の家を訪れている。3週間前から靴が窮屈となり、両足のむくみに気付いた。足に痛みや痒みはなく、歩行困難はない。動悸や息苦しさも自覚していない。最近立ち仕事が多かったためのむくみと考えていたが、改善しないため娘の家の近くの診療所を受診した。60歳で高血圧を指摘され、その後、自宅近くのA医院から降圧薬を継続的に処方されている。2か月前に新たな降圧薬が追加となった。来週には帰宅しA医院を受診する予定となっている。

現症 意識は清明。身長 154cm、体重 52kg。体温 36.0。脈拍 72/分。血圧 144/80mmHg。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。両足背から下腿にかけて軽度の圧痕を残す浮腫を認める。下肢の色素沈着や紫斑を認めない。

担当医は浮腫の原因疾患を同定するために各種の精査を行った結果、今回の浮腫の原因は、A医院で追加処方された降圧薬の影響であると考えた。

4 . 患者への説明や提案として適切なものはどれか。

- a 「主治医を変えた方が良いと思います」
- b 「病気ではありませんので、様子をみてください」
- c 「A医院と連携して解決方法を検討させていただきます」
- d 「追加になった薬の副作用ですので、こちらでは治療できません」
- e 「むくみをとる薬を出しますので、A医院の薬に追加してください」

5 . 問題指向型医療記録 (POMR) の「評価」の記載に該当するのはどれか。

- a 「2週後に再診とする」
- b 「軽度の圧痕を残す浮腫を認める」
- c 「副作用について患者に伝えるべきが悩んでいる」

- d 「浮腫の原因は降圧薬の副作用である可能性が高い」
- e 「最近立ち仕事が多かったためだと患者は考えている」

6 . 高カルシウム血症でみられないのはどれか。

- a 多尿
- b せん妄
- c 易疲労感
- d 消化性潰瘍
- e 筋けいれん

7 . 50歳の男性。上行結腸癌のため入院し、右半結腸切除術当日である。不整脈の既往はない。術中経過は特に問題なかった。術後、患者は回復室に入室し、6時間を経過したところで痛みは我慢できる程度であるという。心電図モニターの画面上、心拍数は110/分、整で、SpO₂ 100%(マスク3 l/分 酸素投与下)である。心拍数の記録を確認したところ、回復室に入室後は80/分で経過していたが、30分前から次第に増加し現在の値に達している。

現時点での対応として適切なものはどれか。

- a 血圧記録の確認
- b 早期離床の推奨
- c 細胞外液の急速投与
- d カルシウム拮抗薬の投与
- e 自動体外式除細動器 (AED) の装着

8 . 思春期から若年成人に好発するのはどれか。

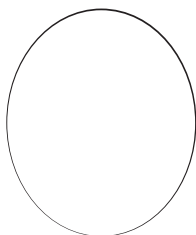
- a 顕微鏡的多発血管炎
- b 高安動脈炎 (大動脈炎症候群)
- c 巨細胞性動脈炎 (側頭動脈炎)
- d アレルギー性肉芽腫性血管炎 (Churg-Strauss症候群)
- e Schonlein-Henoch紫斑病 (アナフィラクトイド紫斑病)

9 . 79歳の女性。両上肢の痛みとこわばりを主訴に来院した。2週間前から両上肢の痛みとこわばりが出現した。1週間前から頭痛と夕方から夜にかけての38の発熱とを自覚した。起床時にはこわばりがひどく、寝返りができない。2週間で体重が1.5kg減少した。体温 37.9。脈拍 84/分、整。血圧 142/80mmHg。眼瞼結膜は貧血様である。両側の上腕に圧痛を認める。関節に腫脹と圧痛とを認めない。赤沈 102mm/1時間。血液所見：赤血球 301万、Hb 9.6g/dl、Ht 29%、白血球 9,800、血小板 4万。血液生化学所見：総蛋白 5.9g/dl、AST 29IU/l、ALT 28IU/l、LD 321IU/l (基準 176~353)、CK 38IU/l (基準 30~140)、尿素窒素 18mg/dl、クレアチニン 0.7mg/dl、Na 138mEq/l、K 4.9mEq/l、Cl 100mEq/l。早急に対応すべき病態の判断に最も重要な質問はどれか。

- a 「よく眠れますか」
- b 「腰は痛いですか」
- c 「寝汗はかきますか」
- d 「目は見えにくくないですか」
- e 「太ももに痛みはありますか」

国公立病院だより

五ヶ瀬町国民健康保険病院



ちえ いむすん
崔 林承 院長

当院は昭和 39 年の開院から 50 年目を迎えております。現在の建物は平成 10 年に新築移転されたものであります。町内唯一の医療機関として、医療・保健・福祉の連携をはかりながら地域包括医療の中心として、その役割を担ってきました。現

在のベッド数は一般 36 床、介護療養型 18 床の計 54 床です。当院から本欄へは平成 16 年、および平成 21 年に寄稿させていただいており、当時の人口はそれぞれ、約 5,400 人、約 4,500 人と紹介されております。平成 26 年 7 月現在は人口約 4,300 人、65 歳以上の高齢化率は 33% を超え、近隣の地域同様に人口減少・少子高齢化の進んでいる地域であります。背景からは、まさに地域医療の「最前線」にあるといえます。

近年、当院での診療は主に熊本大学医局派遣医師・自治医大県派遣医師により行われてきました。平成 16 年には常勤医師数 5 名でありましたが、今年度から常勤は熊本大学医局派遣の 2 名のみとなってしまいました。同じく熊本大学医局からの週 1 回ずつ、3 名の非常勤医師（整形外科・循環器内科・消化器外科）に応援に来ていただいております。現在の診療体制は人口減以上の厳しい状態にあります。これまで担ってきた役割も当院の力だけでは継続が困難であり、特定健診・後期高齢者健診・学校検診は外部委託となり、町内 3 か所の僻地診療所での出張診療にも困難をきたす有様です。夜間休日当直は熊本大学、隣町の高千穂町立病院をはじめ、他の医療機関からの協力を得て、なんとか維持できている状況です。これらに伴い、入院・外来患者数とも人口減以上の落ち込みが懸念されています。これまでは当院で出来ていた手術も、他院へお願いせざるを得ない状況となっております。また、医師のみならず、看護職その他の関係職員の確保も深刻な問題であります。しかしながら、今後ますます在宅医療の重要性が増す中、

訪問診療のニーズにはこれまで以上にしっかり対応していかなければならない状況です。

こうした中ではありますが、昨年度は町教育委員会の主導のもと、町内中学生対象の医療体験研修会を開催することができ、医療に対する興味を持ってもらい、将来の医療の担い手を育むための非常に有意義な活動が出来ました。同時に、地元の子供たちに対するこのような取り組みは、中小自治体病院が担うべき重要な役割の一つではないかとも考えさせられた次第です。

来年度からは西臼杵郡（日之影・高千穂・五ヶ瀬）広域常備消防がスタートいたします。これまでされてこなかった西臼杵郡 3 町での病院連携が高千穂町立病院箕田院長主導のもとにすすめられています。五ヶ瀬町は熊本県との県境に位置し、基幹病院への搬送は県境を越えることもしばしばです。これまで以上に近隣医療機関・基幹病院との連携を強めていく必要性があると感じております。

病院はその地域で人々が暮らすために必要な社会基盤の一つです。五ヶ瀬町は皆様ご存知のとおり、日本最南端のスキー場を擁し、美しい山々と五ヶ瀬川の清流に囲まれた美しい町です。町民はみなこの町を愛し、いつまでもこの町で過ごしていきたいと考えておられます。当院は町内唯一の医療機関として、健康のよりどころとしての責務を今後も担っていかねばなりません。地域医療を担う医師の確保がますます困難になる中、職員全員で研鑽・成長に励みつつ、町民の皆様が安心して暮らしていけるように、近隣地域の医療機関と連携を密にしながら診療体制の回復・向上に努めていきたいと考えております。

（崔 林承）

ご案内

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。詳細は 8 月中に、FAX（A 会員）とハガキ（B 会員）にてご案内いたしておりますので、ご確認ください。

と き 平成 26年 11月 3 日（月・祝）
ところ ハイビスカスゴルフクラブ
宮崎市佐土原町下田島 21085-1

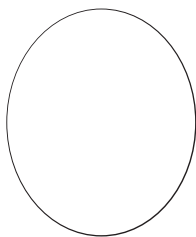
（担当 総務課 田崎）

8 月のベストセラー

- | | | | |
|----|------------------------------------|-------------|-----------|
| 1 | 銀翼のイカロス | 池 井 戸 潤 | ダイヤモンド社 |
| 2 | 明日の子供たち | 有 川 浩 | 幻 冬 舎 |
| 3 | 荒神 | 宮 部 み ゆ き | 朝日新聞出版 |
| 4 | 他人を攻撃せずにはいられない人 | 片 田 珠 美 | PHP 研 究 所 |
| 5 | 岳飛伝 10 天雷の章 | 北 方 謙 三 | 集 英 社 |
| 6 | 大破局の「反日」アジア 大繁栄の「親日」アジア | 長 谷 川 慶 太 郎 | PHP 研 究 所 |
| 7 | 余計な一言 | 齋 藤 孝 | 新 潮 社 |
| 8 | おかげさまで生きる | 矢 作 直 樹 | 幻 冬 舎 |
| 9 | 聞く力心をひらく 35のヒント | 阿 川 佐 和 子 | 文 藝 春 秋 |
| 10 | アトピーに朗報！
日本型バイオ「ライスパワー」に賭けた 40年 | 入 野 和 生 | 小 学 館 |

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店（宮崎市青葉町）☎（0985）23-7077

専 門 分 科 医 会 だ よ り (外 科 医 会)



や びろ かつぞう
八尋 克三 会長

前会長田中俊正先生(3 期 6 年)が退任され、本年度より八尋克三新会長が就任しました。現在会員は 186 名で A 会員 90 名, B 会員 56 名, 宮崎大学 C 会員 40 名です。

5 年前は A 会員 9 名, B 会員 59 名, 宮崎大学 C 会員 15

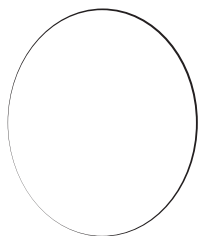
名でした。各都市医師会別にみると宮崎 69 名, 都城 31 名, 延岡 10 名, 日向 11 名, 児湯 8 名, 西都 3 名, 南那珂 12 名, 西諸 7 名, 西臼杵 0 名です。会員数全体としては微増していますが, 主に大学医師会会員の増加によるものです。歴代会長が会員数の減少を食い止めようと努力され, 特に前会長時代に行った大学 C 会員の会費免除, 日本臨床外科学会への参加等の改革による効果であると考えます。しかし, 全国的にも外科医減少傾向は続いており, 研修医に外科医のすばらしさを伝えるのが先輩である我々の責任であり, 今後も努力が必要です。

外科医会の昨年度の主な行事は年 4 回の学会で, 県外科医会・県整形外科医会・県医師会労災部会合同学会(6 月 1 日), 夏期講演会(8 月 2 日, 第 2 回日本臨床外科学会地方会), 秋期講演会(11 月 15 日, 第 3 回日本臨床外科学会地方会), 冬期講演会(2 月 14 日, 第 4 回日本臨床外科学会地方会)が行われました。昨年より, 夏期, 秋期, 冬期講演会の 3 回の講演会は日本臨床外科学会の地方会を兼ねる形での開催となり, 貴重な症例報告, 時間を越えた活発な質疑応答がなされ

ました。夏期講演会の抄録が日本臨床外科学会雑誌, 75 巻(2014)2 月号に掲載され, 冬期講演会抄録も今後掲載予定です。昨年より同学会から座長推薦依頼があり, 今年も福島県の学会に 5 名の推薦をしています。人選はできるだけ若い世代からとの新会長の方針で行われました。次世代臨床外科医のためのセミナーにも 3 名派遣しています。

現在, 外科医を取り巻く環境は厳しく, 手術時だけではなく長時間拘束される労働条件の悪さ, 術前術後癌化学療法等さまざまな負担があります。また, 今までは問題にならなかった医療行為に対する説明不足や手術や診断に対する医療訴訟, マスコミの過剰報道もあります。ネット社会になり, SNS 等の書き込みでも被害を受けている医療機関もあるようです。特に院内感染に関するマスコミの過剰報道等では, 医療従事者に不満を抱かせるようなものもありました。加えて, 4 月の診療報酬改定で一部手術手技料の技術料引き上げはありましたが, 短期滞在基本料算定患者が計算対象外とされ, 外科病棟として 7 対 1 看護体制が取れなくなる病床も増加する可能性があります。地方で手術ができる病院が減少することが心配されます。このような環境のなかで, 新会長は, “外科医が萎縮することなく, 外科医として誇りを持ち, 胸を張って医療を行えるように, 必要な時には堂々と意見を言える外科医会にしたい” と希望されており, 自分も新体制下で微力ながら協力していきたいと思っています。
(副会長 ^{きたむら ひろし} 北村 洋)

メディアの目



運動不足解消！

宮崎放送 報道部長

ま のぼり
馬 登たかし
貴

小学3年の長男が、小学校のソフトボールチームに入って1年が経ちました。おかげで、父親である私も「運動不足」から解消されました。

長男のチームでは、父親は皆「コーチ」と呼ばれます。練習は火・木と試合のない土・日の週4日。土・日の練習には、監督のほか、多くの父親が参加し、キャッチボール、ノック、バッティングを手伝います。もちろん私も、仕事があれば参加するようにしています。

小学生とはいえ6年生にもなるとピッチャーの球はかなり速いです。球速は80~90キロ。ソフトボールは、野球より距離が短いため、体感速度は120~130キロと言われます。高校球児の球を打つようなものです。さらに厄介なことに変化球まで投げます。とはいえ、我が子も見ていたので、父親が三振でもすれば格好悪い...親も真剣です。

子供のスポーツは勝ち負けがすべてではありません。努力することの大切さ、挨拶や礼儀作法、チームワーク、仲間との協力など、これから成長する上で大切なことを学んでほしいと思っています。仕事柄、高校野球の強豪校に取材に行くこともありましたが、感心するのは挨拶の

素晴らしさでした。強いチームほど行動は迅速で、挨拶も徹底しています。小学校のチームでも、練習に「コーチ」や「母親」が来ると、皆、立ち止まって「こんにちは！」と挨拶します。試合の時も、審判からボールをもらうと、守っている選手は、必ず帽子をとって「ありがとうございました！」と一礼。見ていて気持ちの良いものです。

宮崎県はソフトボールが強いことでも有名です。去年は、宮崎市内の小学校チームが全国チャンピオンと九州チャンピオンに輝きました。今年も門川町の小学校チームが全国大会で準優勝しました。

今年夏の甲子園大会には、日南学園が3年ぶり7回目の出場を果たしましたが、残念ながら、初戦で愛知県の東邦高校に敗れました。九州で唯一甲子園優勝経験のない宮崎...数年後、県内の小学校ソフトボールチームから、甲子園制覇に導く選手が出てくることを期待したいです。がんばれ！未来の高校球児たち。

さて、今週末も仕事は休み...ソフトの練習に行ってきます！！

宮崎県感染症発生動向 ～ 7 月 ～

平成26年6月30日～平成26年8月3日(第27週～31週)

■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 ○結核23例 保健所別報告数を【図1】に示した。
患者が16例、無症状病原体保有者が3例、疑似症患者が4例であった。患者は肺結核が13例、その他の結核では結核性胸膜炎が2例、結核性リンパ節炎が1例であった【表1】。性別は男性13例・女性1例で、年齢別報告数を【表2】に示した。

3 類 ○腸管出血性大腸菌感染症8例 宮崎市保健所管内で3例、都城保健所管内で1例、日南保健所管内で1例、小林保健所管内で2例及び高千穂保健所管内で1例報告された。

・患者が4例、無症状病原体保有者が4例で、年齢別では1～9歳が4例、20歳代1例、40歳代2例、50歳代1例であった。患者の主な症状として腹痛、水様性下痢、血便がみられた。原因菌の○血清型別は○26が2例、○55が2例、○91・○103・○121・○15が各1例ずつであった。

4 類 ○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1例 延岡保健所管内で報告された。

・患者は90歳代で、発熱、神経症状、血小板減少、白血球減少、出血傾向、紫斑がみられた。刺し口は確認できず海外渡航歴もなかった。

○日本紅斑熱1例 宮崎市保健所で報告された。

・患者は80歳代で、発熱、頭痛、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常、低カルシウム血症がみられた。

○レジオネラ症4例 宮崎市保健所管内で2例、都城保健所管内で1例及び日向保健所管内で1例報告された。

・患者はいずれも病型は肺炎型で、男性であった。年齢は40歳代・50歳代・60歳代・70歳代各1例ずつであった。主な症状として発熱、呼吸困難、咳嗽がみられた。

5 類 ○後天性免疫不全症候群2例 いずれも宮崎市保健所管内で報告された。

・患者はいずれも無症候性キャリアで、男性であった。年齢は20歳代と30歳代であった。

○侵襲性肺炎球菌感染症2例 いずれも宮崎市保健所管内で報告された。

・患者は8か月で、発熱、痙攣、中耳炎、菌血症がみられた。肺炎球菌ワクチン(13価)は、2,3,4か月に接種。

・患者は60歳代で、頭痛、発熱がみられた。

○梅毒2例 宮崎市保健所管内で1例、日向保健所管内で1例報告された。

・患者は20歳代男性で、早期顕症梅毒(Ⅰ期)硬性下疳がみられた。

・患者は30歳代女性で、早期顕症梅毒(Ⅰ期)丘疹性梅毒疹がみられた。

■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,422人(定点あたり102.7)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。また、例年の70%と少なかった。

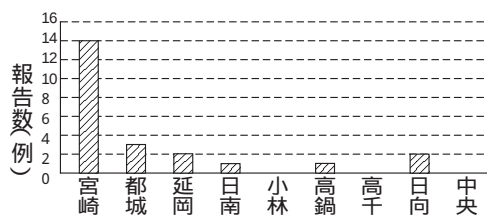


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	13
その他の結核	3
無症状病原体保有者	3
疑似症患者	4

表2 結核 年齢別報告数(例)

20歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	2	2	1	8	6	3

前月との比較

	2014年7月		2014年6月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	7	0.1	50	0.8	
RSウイルス感染症	11	0.3	5	0.1	
咽頭結膜熱	165	4.6	193	5.4	
溶レン菌咽頭炎	313	8.7	429	11.9	
感染性胃腸炎	1,117	31.0	1,232	34.2	
水痘	225	6.3	271	7.5	
手足口病	568	15.8	587	16.3	
伝染性紅斑	15	0.4	16	0.4	
突発性発疹	174	4.8	167	4.6	
百日咳	4	0.1	12	0.3	
ヘルパンギーナ	732	20.3	432	12.0	
流行性耳下腺炎	35	1.0	30	0.8	
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	54	9.0	65	10.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.1	3	0.4	

例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と百日咳であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は水痘と百日咳であった。

咽頭結膜熱の報告数は165人(4.6)で前月及び例年の約0.9倍であった。日南(14.3)、高鍋(7.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は568人(15.8)で前月と同程度、例年の約0.9倍であった。日南(33.7)、小林(27.7)、延岡(21.5)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は732人(20.3)で前月の約1.7倍、例年の約0.6倍であった。延岡(74.8)、日南(29.7)、日向(28.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約6割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向 7月

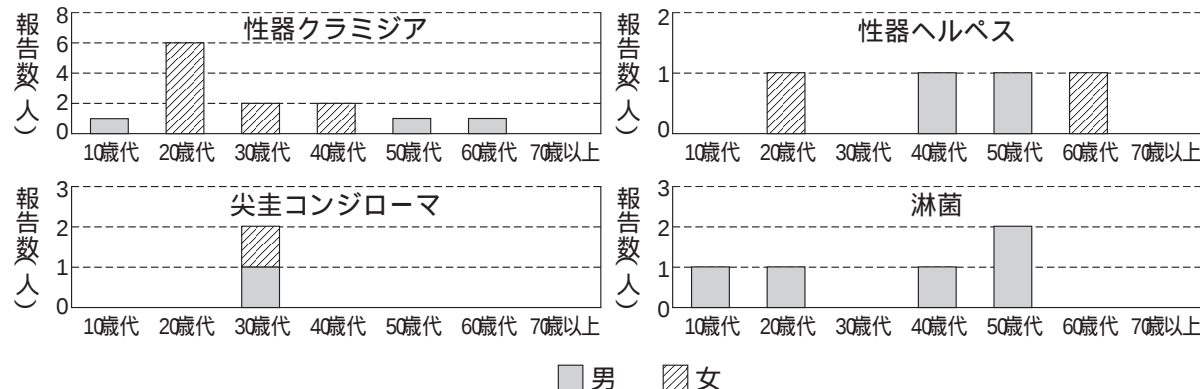
□性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は24人(1.9)で、前月比56%と減少した。また、昨年7月(3.3)の約0.6倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数13人(1.0)で、前月及び昨年7月の約0.5倍であった。年齢別では20歳代が全体の約半数を占めた(男性3人・女性10人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数4人(0.31)で、前月の約2.0倍、昨年7月と同程度であった(男性2人・女性2人)。
- 尖圭コンジローマ 報告数2人(0.15)で、前月及び昨年7月の約2.0倍であった(男性1人・女性1人)。
- 淋菌感染症 報告数5人(0.38)で、前月の約0.4倍、昨年7月の約0.5倍であった。50歳代が全体の約4割を占めた(男性5人)。



□薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は34人(4.9)で前月比170%と増加した。また昨年7月(6.0)の約0.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数32人(4.6)で、前月の約2.3倍、昨年7月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数2人(0.29)で、前月の約0.4倍であった(昨年7月報告なし)。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	インフルエンザB型(山形系統)	1
	エンテロウイルス7型	2
	コクサッキーウイルスB5型	1
	ライノウイルス	2
細菌	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	6
	EH EC(O 26 H 11 VT 1)	1
	EH EC(O 121 H 19 VT 2)	1
	<i>Legionella pneumophila</i> SG I (レジオネラ菌)	1
	<i>Salmonella</i> Braenderup(O 7 e h e n z 15)	1
菌	<i>Salmonella</i> Manhatta(O 8(O 6) d 1,5)	1
	<i>Salmonella</i> Thompson(O 7 k 1,5)	1
	<i>Salmonella</i> O 4 i - 型別不能	1
	<i>S. gallolyticus</i> ssp <i>pasteurianus</i>	2

薬事情報センターだより (328)

オーソライズド・ジェネリック

ジェネリック医薬品は、一般的には、先発医薬品の特許が切れた後に他の医薬品メーカーが同じ有効成分で製造販売する医薬品ですが、先発医薬品メーカーが子会社やライセンス契約を結んだ会社に販売権を付与する場合があります。このジェネリック医薬品をオーソライズド・ジェネリック(Authorized Generic : AG)といいます。

ジェネリック医薬品が発売されると先発医薬品からジェネリック医薬品に一気に切り替わる市場において、AG は、他のジェネリック医薬品に先駆けて発売することでシェアを押さえることが大きな目的と言われています。これまで、日本ではジェネリック医薬品が参入した場合のシェア獲得ペース等から先発医薬品を販売し続けた方が、有利と考えられていましたが、ジェネリック医薬品の利用促進等に伴う様々な施策等の関係から、今後、AG が増加する可能性も考えられ、今後の推移を注視していく必要があります。

我が国では、フェキソフェナジン塩酸塩錠「SANIK」が 2013 年 6 月に初の AG として発売されました。製造販売は、先発医薬品であるアレグラ錠の製造販売元であるサノフィ株式会社と日医工株式会社との合併会社である日医工サノフィ株式会社が製造販売し、日医工株式会社が販売しています。しかし、既に 2 銘柄が、2012 年 12 月に薬価収載され、2013 年 2 月に発売されていたので、他の医薬品に先駆けて発売さ

れたわけではありません。

2014 年 6 月に薬価収載されたカンデサルタン錠「あすか」は 9 月中旬に発売予定と報じられています。発売されれば他のジェネリック医薬品に先駆けて発売される初の AG となります。製造販売するあすか製薬株式会社の筆頭株主は、先発医薬品であるプロプレス錠の製造販売元である武田薬品工業株式会社という関係があります。

なお、2014 年 6 月に薬価収載されたバルサルタン錠「サンド」とゾレドロン酸点滴静注「サンド」はノバルティスファーマ株式会社からサンド株式会社に特許権等を許諾された AG ですが、他のジェネリック医薬品も同時に薬価収載されており、サンド株式会社一社のみ先駆けて販売するわけではありません。

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と効き目や安全性が同等であることが証明された医薬品ですが、原薬・添加物・製造方法は、製剤特許が有効に存しており特定の添加物を使用できない場合、先発製剤を改良してよりよい製剤にする場合等様々な理由により、必ずしも先発医薬品と同一ではありません。しかし、今回紹介した AG は全て先発医薬品と原薬・添加物・製造方法が同一の医薬品です。

参考資料

オーソライズド・ジェネリックって何? .
日経ドラッグインフォメーション 2014. 40. 2014
(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

オーソライズド・ジェネリック一覧(平成 26 年 8 月 1 日現在)

後 発 医 薬 品 名	製薬会社名	先 発 医 薬 品 名	薬価収載日
フェキソフェナジン塩酸塩錠 30mg「SANIK」	日医工サノフィ	アレグラ錠 30mg	平成 25 年 6 月 21 日
フェキソフェナジン塩酸塩錠 60mg「SANIK」		アレグラ錠 60mg	
カンデサルタン錠 2 mg「あすか」	あすか製薬	プロプレス錠 2	平成 26 年 6 月 20 日
カンデサルタン錠 4 mg「あすか」		プロプレス錠 4	
カンデサルタン錠 8 mg「あすか」		プロプレス錠 8	
カンデサルタン錠 12mg「あすか」		プロプレス錠 12	
バルサルタン錠 20mg「サンド」	サンド	ディオバン錠 20mg	
バルサルタン錠 40mg「サンド」		ディオバン錠 40mg	
バルサルタン錠 80mg「サンド」		ディオバン錠 80mg	
バルサルタン錠 160mg「サンド」		ディオバン錠 160mg	
ゾレドロン酸点滴静注 4 mg / 5 mL「サンド」	サンド	ゾメタ点滴静注 4 mg / 5 mL	

九州医師会連合会第 340回常任委員会

と き 平成 26年 7 月 4 日(金)

ところ 宮崎観光ホテル

1 . 開 会

九医連会長の近藤大分県医会長から、新法人移行に伴い役員任期が変更され、九医連諸会議は今回から大分県医の担当で開催する旨が説明され、開会された。

2 . 挨 拶

前九医連会長 宮城沖縄県医師会長

開催県医師会 河野宮崎県医師会長

3 . 報 告

- 1) 平成 26年度九州医師会連合会行事予定について(大分)

平成 26年度(H 26.7 .1 ~ H 27.6 .30)の年間行事予定が示された。

- 2) 平成 26年度九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について

(宮崎)

河野委員が、常任委員会終了後引き続き開催する標記合同会議の進行確認を行った。

4 . 協 議

- 1) 九州医師会連合会長・同副会長の互選について(大分)

会長に近藤大分県医会長、副会長には蔭本熊本県医会長が選出された。

- 2) 九州医師会連合会幹事の選定について(大分)

九医連担当県の隣接県である本県と福岡県から推薦し、8 月 30日の定例委員総会で決定することとされた。

- 3) 第 341回常任委員会の開催(8 月 2 日(土)宮崎市)について(大分)

下記のとおり開催することが決定された。

日時 平成 26年 8 月 2 日(土) 16 00~ 17 00

場所 宮崎観光ホテル

- 4) 第 342回常任委員会並びに第 10回定例委員総会の開催について(大分)

下記のとおり開催することが決定された。

日時 平成 26年 8 月 30日(土)

常任委員会 16 00~ 16 50

定例委員総会 17 00~ 18 30

場所 レンブラントホテル大分

- 5) 第 343回常任委員会並びに第 1 回各種協議会の開催について(大分)

下記のとおり開催することが決定された。

日時 平成 26年 9 月 20日(土)

常任委員会 16 00~ 16 50

第 1 回各種協議会 16 00~ 18 00

場所 大分オアシスタワーホテル

- 6) 九州医師会連合会災害時医療救護協定(案)について(福岡)

6 月 7 日開催の九医連常任委員・九州各県医次期会長合同会議で提案されていた標

記協定書(案)及び同実施細目(案)について協議が行われ、協定書の細部については、担当理事者会等で詰めることを前提に、本日(7月4日)付で協定を締結することとされた。また、県外派遣の事後追認に関しては、九州以外の地域で事後追認が認められているところもあるとの情報が紹介され、引続き開催される九州各県保健医療福祉主管部長合同会議でも、河野委員からこのことについて言及することとなった。

5. その他

- 1) 九州医師会連合会選出の日医理事任期满了に伴う記念品贈呈について(大分)
日医役員を退任された藤川前常任理事(佐賀県医)、稲倉前理事(宮崎県医)及び福田前理事(熊本県医)に対し、九医連として8月30日の定例委員総会で記念品を贈呈することが決定された。

- 2) 九州医師会連合会からの弔意について
(沖縄)

元沖縄県医会長、元日医連推薦参議院議員の大浜方栄先生のご逝去に際し、弔意を表した旨の報告があった。

- 3) 母体保護法指定医師研修会の相互受講にかかる確認書について(宮崎)

河野委員から、1月25日開催の第338回常任委員会で、九州各県医が開催する標記研修会の相互受講を可とすることが了承されていたが、九州ブロック産婦人科医会より受講者の確認、受講料、研修会の周知、非会員の取扱いについて調整を終えたとの報告が行われた。確認書(案)が示され、協議の結果一部修正のうえ、7月4日付で締結された。

出席者 - 河野会長、大重事務局長、小川次長

日州医事 8 月号の記事訂正について

日州医事平成 26 年 8 月号 45 ページの出席代議員名簿の予備代議員の印()に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

誤	正
2 番 島 田 雅 弘	2 番 島 田 雅 弘
6 番 植 松 昌 俊	6 番 植 松 昌 俊
12 番 弘 野 修 一	12 番 弘 野 修 一
16 番 中 山 健	16 番 中 山 健
19 番 増 田 好 治	19 番 増 田 好 治
29 番 宮 本 義 明	29 番 宮 本 義 明
33 番 青 柳 淳 太 郎	33 番 青 柳 淳 太 郎

(予備代議員)

九州医師会連合会第 341回常任委員会

と き 平成 26年 8 月 2 日(土)

ところ 宮崎観光ホテル

1 . 開 会

2 . 挨 拶

九医連会長 近藤大分県医師会長

3 . 報 告

九州医師会連合会事務引継ぎについて(大分)
平成 26年 7 月 19日(土)沖縄県医師会館において、沖縄県医から大分県医に引継ぎが行われた旨の報告があった。

4 . 協 議

1) 第 1 回各種協議会の開催種目について (大分)

平成 26年 9 月 20日(土)大分オアシスタワーホテルで 10時から開催することが承認され、地域医療(救急・防災を含む)対策協議会、医療保険対策協議会、介護保険・在宅医療対策協議会の 3 種目を開催することが決定された。

2) 日本医師会会内委員会について(大分)

九州ブロックから推薦を行う 2委員会委員の検討が行われた。九州各県の要望を優先した上で、ブロック推薦については各県 3 名程度とすること、最終調整については、九医連の近藤会長(大分県医)、蔭本副会長(長崎県医)に一任することが承認された。

出席者 - 河野会長、大重事務局長、小川次長

お 知 ら せ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 26年 5 月 1 日より平成 26年 10月 31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

医師国保組合だより

平成 26 年度 宮崎県医師国民健康保険組合第 11 回通常組合会

と き 平成 26 年 7 月 24 日(木)

ところ 宮崎県医師会館

去る 7 月 24 日に、第 11 回通常組合会を開催し、議長および副議長の選出後、平成 25 年度事業報告、歳入歳出決算、歳入歳出差し引き剰余金の処分についての審議を行い、原案通り可決承認された。また、任期満了に伴う役員改選が引き続き行われたのでその概要を報告する。

議長に内田攻先生(宮崎市郡医師会支部)、副議長に井手稔先生(延岡市医師会支部)を選出した後、物故組合員に対し弔意黙祷を捧げ、秦理事長の挨拶に続き議事に入った。

出席議員 18 名(議員定数 30 名)

議席番号	氏 名
1.	市 来 能 成
2.	内 田 攻
4.	田 崎 高 伸
5.	田 中 宏 幸
6.	谷 口 二 郎
7.	玉 置 昇
8.	原 田 雄 一
9.	弘 野 修 一
10.	福 永 隆 幸
12.	武 田 信 豊
13.	出 水 善 文
16.	大 岐 照 彦
19.	江 崎 豊
21.	大久保 史 明
22.	水 野 智 秀
23.	坂 田 師 隣
26.	花 田 武 浩
27.	立 山 洋 司

出席理事 8 名

理 事 長	秦 喜八郎
副理事長	大 坪 睦 郎
"	河 野 雅 行
常務理事	高 橋 政 見
理 事	濱 田 政 雄
"	石 川 智 信
"	矢 野 裕 士
"	高 村 一 志

出席監事 2 名

監 事	棚 田 敏 文
"	山 路 健

1. 議事の状況

1) 平成 25 年度事業報告について

組合会に関する事項について、第 10 回、第 11 回の通常組合会を開催し、議案を上程し、いずれも原案通り可決承認を得た旨を報告。

理事会に関する事項については、延べ 9 回開催し、会議等の報告、主要議題について協議した旨を報告。

会務報告の連絡協議等に関する事項については、官庁(県国保・援護課)関係、全国・九州ブロックの各種関連団体の諸会議について、役員並びに職員で対応した旨を報告。

被保険者数に関する事項について、月平均被保険者数を前年度と比較した場合、組合員については 2 名減、家族については 43 名の減となっている。従業員は、増減なし。

保険給付に関しては、療養諸費の保険者負担分を比較した場合、25年度は1億9,500万円余りで前年度より約922万円増となっている。

出産育児一時金は126万円減、葬祭費は20万円減、傷病手当金については5万円増であった。

高額療養費については、前年度比約300万円増、療養費については、保険者負担が約50万円減となっている。

保健事業の中の健康診断については、受診率約40%で、前年度との差はさほどなく、特定健診の受診率も約29%で前年度とほぼ同じであった。

インフルエンザ接種補助、肺炎球菌ワクチン接種補助については若干の増、歯科健診は、25年度から歯石除去等を盛り込んで実施し、受診件数は前年度より30件以上増加している。

脳ドック補助事業および健康診断における胃・大腸内視鏡検査の補助については、若干の増であった。

健康推進事業として毎年実施している歩こう会は、45名の参加を得て行った。

以上、平成25年度事業報告について説明し承認された。

2) 平成25年度歳入歳出決算について

歳入に関しては、保険料と補助金が主なもので、歳入に占める割合は、保険料が45.6%、補助金が18.0%、繰越金が33.2%の割合となっている。

保険料については3億645万円の収入、療養給付費等補助金については1億60万円、前年度比35万円の減となっている。

一方、歳出は4億7,562万円の支出で、歳出に占める割合は、保険給付費が46%、後

期高齢者支援金が18.7%、前期高齢者納付金3.3%、介護納付金が9.2%、合計で歳出の約77%を占めている。

その他に、組合会費・総務費関係で約14%、保健事業費が4.6%となっている。

保険給付費については、支出額が2億1,862万9,427円、後期高齢者支援金が8,882万5,010円で前年度比約409万の増、前期高齢者納付金は1,58万961円で前年度比約1,427万円減となっている。

歳入合計6億7,172万2,546円、歳出合計4億7,562万6,608円で、歳入歳出差引残額は1億9,609万5,938円となり、単年度では、2,69万6,096円の赤字決算となった。主な赤字の要因は、保険給付費および保健事業費等の増加によるものと説明し承認された。

3) 平成25年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている、「特別準備積立金」並びに「給付費支払準備積立金」については、法定額を大幅に超えており、今期の積立は必要なく、歳入歳出差引残額1億9,609万5,938円全額を、平成26年度会計へ繰越とすることが承認された。

4) 役員改選

現役員の任期満了に伴い、組合会において選任した結果、新役員に顧問2名、理事10名、監事2名が以下のとおり決定した。

【顧問】稲倉 正孝(宮崎)、河野 雅行(宮崎)

【理事】秦 喜八郎(宮崎)、大坪 睦郎(宮崎)、

濱田 政雄(宮崎)、高村 一志(宮崎)、

川野啓一郎(宮崎)、佐々木 究(宮崎)、

系数 智美(宮崎)、佐藤 信博(延岡)、

高橋 政晃(児湯)、矢野 裕士(西諸)

【監事】棚田 敏文(宮崎)、山路 健(都城)

日医インターネットニュースから

■ 5 年ぶり日医役員 3 人に

— 中医協 —

中医協診療側の安達秀樹委員(日本医師会・社会保険診療報酬検討委員会委員長)は、7 月 30 日の中医協を最後に退任し、後任には、6 月末の日医の役員改選で執行部に入った松本純一常任理事が厚生労働大臣からの正式な任命を経て就任することになった。

8 月以降の中医協は、日医の執行部から中川俊男副会長、鈴木邦彦常任理事、松本常任理事の 3 氏が委員として参加する。日医執行部の委員が 3 人となるのは、2009 年 10 月に竹嶋康弘副会長、藤原淳常任理事、中川俊男常任理事(役職はいずれも当時)が退任して以来、約 5 年ぶり。

中医協委員の任期は 1 期 2 年で最大 3 期。安達委員の任期は鈴木委員と同様、本来は来年 10 月まで。ただ来年 10 月は、消費税率 10% 対応の改定が予定されていることや、16 年度改定を半年後に控える慌ただしい時期であり、2 人同時に交代するリスクを回避するため、日医は安達委員の退任を約 1 年前倒した。

(平成 26 年 8 月 1 日)

■ 9 割以上が「かかりつけ医」を信用

— 厚労省調査 —

厚生労働省は 8 月 1 日、20~80 代の国民を対象に健康状態や意識、生活習慣、死生観などを調べた「健康意識に関する調査」の結果を公表した。健康に関する情報源の信用度では、かかりつけ医を評価している人が全体の 9 割を超えた。運動やフィットネスの施設利用料など「健康のために出費してもいい」とする金額の月平均は 3,908 円だった。

調査は今年 2 月に実施し、同世代から 5,000 件の回答を得た。健康に関する情報源の信用度では、かかりつけ医を「非常に信用している」が 20.4% で最も高く、「まあ信用している」の 70.3% を合わせると 9 割を超えた。「非常に信用している」とした割合が次に高いのは「大学や病院、診療所」の 12.2% で、以下「家庭向け医学書」7.2%、「新聞」5.9%、「保健所や自治体」5.7% と続いた。

健康食品やドリンク剤、運動・フィットネス利用料、健康器具の購入など「自身の健康のために出費してもいい」と考える金額は月平均で 3,908 円。「1,000~4,999 円」の回答が 45.1% で、「5,000~9,999 円」20.1% となった。医療費や介護費、

薬剤費は含めていない。

普段の健康状態では、「非常に健康」7.3%、「健康な方だと思う」66.4% で、合わせて 73.7% が自分が健康と考えていた。健康状態の判断について、「病気がない」としたのが 63.8% で、そのほか「おいしく飲食できる」40.6%、「身体が丈夫」40.3%、「ぐっすり眠れる」27.6%、「不安や悩みがない」19.1% など。一方、健康に不安がある」と回答したのは 61.1%。理由で最も多いのは「体力の衰え」49.6% で、「持病がある」39.6%、「ストレスがたまる・精神的に疲れる」36.3% と続いた。死生観について「何歳まで生きたいか」との設問に対する回答は、平均 79.6 歳となった。

(平成 26 年 8 月 5 日)

■ 老健施設、在宅復帰の在り方議論

— 介護給付費分科会 —

厚生労働省は 8 月 7 日の社会保障審議会・介護給付費分科会(分科会長=田中滋・慶応大名誉教授)に、2015 年度介護報酬改定に向けた介護老人保健施設の論点を示した。

論点では、12 年度介護報酬改定で在宅復帰支援機能・在宅療養支援機能が評価された後、在宅復帰率の高い老健が増加し、平均在所日数が減少傾向にある実態を提示。地域包括ケアシステムを進める観点からも、これらの機能を強化する必要性について議論を求めた。また、在宅復帰支援機能・在宅療養支援機能を高める取り組みなども論点に挙げた。

鈴木邦彦委員(日本医師会常任理事)は、在宅強化型老健と在宅復帰・在宅療養支援機能加算を取っている老健を合わせても全体の 4 分の 1 程度に過ぎない状況に触れ「今回の改定ではハードルを上げるのではなくて、数を増やすことを中心にするべきではないか」と述べた。

(平成 26 年 8 月 12 日)

■ 紹介なし病院外来、下限目安は 5,000 円

— 定額負担で厚労省研究班 —

来年の国会への法案提出に向けて社会保障審議会・医療保険部会で議論が進められている大病院外来受診時の定額自己負担について、5,000 円を下限とする価格設定を目安とすれば軽症患者に行動変容を促す可能性があるとする法政大経済学部の菅原琢磨教授を代表者とする厚生労働科学特別研究事業の調査研究結果がまとまった。

研究班は、制度導入時に予想される受診者の行動変容を分析するためウェブ調査を実施。15歳以上の男女から、年齢と居住地で2万サンプルを無作為層化抽出し、1,849人から回答を得た。回答者の年齢構成は、65歳以上が46.5%、40~64歳が32.8%、15~39歳が13.8%で、大病院外来患者とほぼ同じ構成だった。

これらのサンプルを使った分析の結果、軽症にもかかわらず初診時に大病院を選ぶ回答者は全体の2割だった。重症の場合は初診・再診ともに全体の7割が大病院を選ぶとした。

定額自己負担額については「0円」「1,000円」「5,000円」「1万円」「2万円」の選択肢を用意した。自己負担額がいくらであれば大病院を受診しないかを分析したところ、初診・再診ともに軽症では1,000円と5,000円の間、重症の場合は5,000円と1万円の間だった。このため研究班は、定額自己負担額を5,000円に設定すれば、軽症の場合は受診せず、重症の場合は受診すると考えられるとした。

調査では、軽症を「前日から、のどのいがらっぽさや痛み、鼻水が出て、少し体調が悪いと感じている場合」とし、重症を「数日前に、胸のあたりに圧迫感や締め付けられるような感じと、冷や汗が出たり呼吸しにくい状態が20分以上続いた」とした。

●「初・再診の定義」など課題

研究班は定額自己負担制度の導入に向けた論点を整理するため、地域や医療機能、経営主体が異なる医療機関の関係者に対するインタビューも実施した。その結果、制度導入に当たっての課題として「初診・再診の定義がまちまち」「1か月空けば初診料の算定が原則」とする医療機関があった一方で、3か月、6か月、1年を原則とする医療機関もあった。疾患名が変わらなけ

れば一連の診療として永続的に再診とする所もあった。現行の選定療養の仕組みでは「緊急その他やむを得ない事情」の場合は紹介状なしでも自己負担は求められない。新たな制度導入によって、自己負担の支払い回避を目的とする救急車の不適切利用が増加する懸念がある。長期フォローが必要な精神科や循環器内科、小児外科などのほか、ハイリスク妊婦の出産などについては、定額自己負担の導入に特例的な配慮が必要との指摘がある—などを挙げた。

(平成26年8月2日)

■ 女性医師支援、先駆的医療機関を補助へ — 概算要求で厚労省方針 —

厚生労働省は、日本再興戦略2014年版にも記載された女性医師支援について、15年度予算の概算要求に盛り込む方針を決めた。女性医師のキャリアと家庭の両立を支援する医療機関への財政支援などを検討している。

再興戦略では「女性の活躍促進」が大きくうたわれ、「女性医師による懇談会を設置し、その報告書とあわせて、復職支援、勤務環境改善、育児支援等の具体的取組みを一体的に推進する」と明記された。これを受け厚労省は「女性医師のさらなる活躍を応援する懇談会」を設置し議論を始めている。年内にも報告書を取りまとめる方針だ。

厚労省は15年度予算事業として、先駆的な医療機関への支援に加えて、同報告書に盛り込む予定の女性医師支援に関する好事例の周知なども想定しているようだ。新たな財政支援制度(新基金)の対象事業に組み込まれた「女性医師等就労支援事業」の継続実施を都道府県に働き掛けることなどと合わせ、女性医師が働きやすい環境整備に取り組む。

(平成26年8月26日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

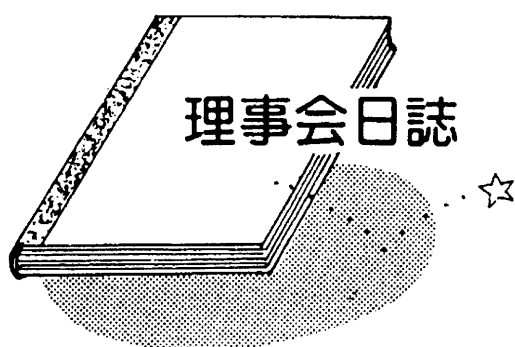
日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字)を0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の6桁の数字を半角で入力
例) 1964年5月1日生まれの場合、610501



平成 26 年 7 月 15 日(火)第 9 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 8/2(土) 宮観ホテル 九医連第 34 回常任委員会の開催について
大分県の担当で、本県で開催される九プロ学校保健大会等に関連する常任委員会の開催であり、会長の出席と、提案事項については会長一任とすることが了承された。
2. 9/2(土) 大分 九医連第 1 回各種協議会の開催種目について
協議題については、1. 地域医療対策協議会、2. 医療保険対策協議会、3. 介護保険・在宅医療対策協議会の順番で要望することが承認された。
3. 九医連監事候補者の推薦について
担当県である大分県の隣県から監事を選出することとなっており、本県からは富田副会長を推薦することが承認された。
4. 日本医師会の委員会委員の委嘱について
医療秘書認定試験委員会の委員として富田副会長に委嘱依頼があり、委嘱を承認することが了承された。
5. 本会外の役員等の推薦について
宮崎大学医学部医学科外部評価(訪問調査)の実施について
→学外の有識者による医学部医学科への外

部評価を実施することになり、会長への委員就任依頼であり、会長の就任が承諾された。

宮崎県薬事審議会委員の推薦について

→富田副会長を推薦することが承認された。

宮崎県高齢者虐待防止連絡会議における委員の確認・推薦について

→役員改選に伴う委員の変更であり、金丸常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県寝たきり予防推進本部会議の委員異動に伴う推薦について

→役員改選に伴う委員の変更であり、金丸常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県地域・職域連携推進協議会の委員異動に伴う推薦について

→役員改選に伴う委員の変更であり、池井常任理事を推薦することが承認された。

認定介護支援専門員相談・助言事業に係る選考委員会の委員推薦について

→介護支援専門員の手本となる認定介護支援専門員の選考をする新しく設立される選考委員会であり、金丸常任理事を推薦することが承認された。

宮崎刑務所視察委員会委員候補者の推薦について

→役員改選に伴う委員の変更であり、佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

6. 平成 26 年度公衆衛生事業功労者表彰(日本公衆衛生協会)の推薦について

公衆衛生事業のために永年にわたり献身的かつ模範的な活動を続けてこられた方に贈られる表彰で、2 名の先生を推薦することが承認された。

7. 世界医師会準会員の更新について

河野会長、富田副会長の更新と新規に濱田副会長の手続きを取ることが承認された。

8 . 8 /24日(宮日ホール)TPP問題シンポジウム
に関するご協力のお願い

県弁護士会主催のTPP問題シンポジウムで
あり、富田副会長がパネリストとして参加す
ることが承認された。

9 . TPP問題に関するアンケートご協力のお願い

上記TPP問題シンポジウムの内容検討のた
めのアンケート調査依頼であり、回答するこ
とが承認された。

10. 後援・共催名義等使用許可について

9 /21日(JA A ZM)足の健康ひろばイベン
ト後援のお願い

→初めての後援依頼団体であり、一般市民を
対象にした講演会等であり、これまでの活動
状況を確認して次回再提出することとなった。

11. 消費税要望に係るアンケート調査について

日医から県医役員へのアンケート調査への
協力依頼であり、協力することが承認された。
その際、日医の現在の考え方を示した資料を
併せて送付することとなった。

(報告事項)

1 . 週間報告について

2 . 7 /9日(支払基金)支払基金幹事会について

3 . 7 /12日(京都)京都府医師会在宅医療実地
研修会視察について

4 . 7 /18日(宮観ホテル)県福祉保健部・病院局
との意見交換会・懇談会について

5 . 7 /14日(県医)広報委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1 . 8 /30日(都城)日本創造研究会(古川禎久衆議
院議員)主催第 7 回特別セミナーについて

講演講師に自民党女性局長の三原じゅんこ
参議院副幹事長を招き開催される研究会で、
協力することが承認された。

2 . 平成 27年度国・県に対する要望並びにヒアリ
ング・懇談会の案内について

8 /1日(金)開催のヒアリングには河野委員長、
立元常任執行委員が参加することが承認され
た。提出議題については、再度、各役員で添
削し、各郡市医師連盟にも照会中であり、次
回再提出することとなった。

平成 26年 7 月 22日(火)第 10回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1 . 厚生功労に係る平成 27年春の叙勲及び褒章候
補者の推薦について

郡市医師会に照会の結果、申請がなく、県
医師会として推薦者を検討することが承認さ
れた。

2 . 学校保健に係る平成 27年春の叙勲候補者の
推薦について

郡市医師会に照会の結果、1 名の申請があ
り、県医師会として推薦することが承認さ
れた。

3 . 宮崎県公衆衛生事業功労者表彰の被表彰者の
推薦について

多年にわたり公衆衛生活動に携わり、その
功績が顕著である方を表彰するもので、郡市
医師会から推薦のあった 5 名を推薦するこ
とが承認された。

4 . 日本医師会 会内委員会委員の推薦について

日医が設置する 23の委員会に各ブロック 1
名の推薦枠があるため、希望する委員会の意
向確認が行われた。現在委員を務めている役
員の継続と、新たに希望する役員は今週中を
回答期限として事務局に申し出ることが承認
された。なお、最終的なブロック推薦委員の
決定は、九州各県からの推薦状況を踏まえ、
8 /12日(土)開催の九医連常任委員会で調整が行
われる。

5. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県医療審議会委員の推薦について

→医療提供体制の確保に関する重要事項を調査審議するため設置される審議会で、河野会長と富田副会長を推薦することが承認された。

みやざき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト連携会議委員の就任並びに設立総会等について

→河野会長の委員就任が承認され、8/1(金)の設立総会については、事務局が代理出席することが確認された。

宮崎県ナースセンター事業運営委員会委員の推薦について

→任期満了による推薦依頼であり、池井常任理事と内村理事を推薦することが承認された。

宮崎県訪問看護推進協議会委員の推薦について

→役員改選に伴う委員の変更であり、池井常任理事を推薦することが承認された。

6. 後援・共催名義等使用許可について

9/20土(m i c c)世界アルツハイマーデー記念市民公開講座名義後援の依頼について

→例年開催されている市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

7. 医療従事者のための多文化講座の開催について

外国人患者に対応できる医療体制の充実を目的に、県内の医療機関に勤務する医療従事者を対象に開催される講座で、共催することが承認された。

8. 8・9月の行事予定について

8月の追加行事と9月の行事の確認が行われた。

(報告事項)

1. 7/16火(宮観ホテル)宮崎市郡医師会 7 月例会特別講演会ならびに懇親会について

2. 7/11木(県医)医療施設スプリンクラー等整備補助事業説明会及び情報交換会について

3. 7/11木(JA A Z M)社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導について

4. 7/19土(県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会、総会・全体研修会について

5. 7/19土(東京)首都圏医師との交流会について

6. 7/20日(東京)レジナビフェアについて
医師連盟関係

(議決事項)

1. 9/11木(東京)敬人会(武見敬三参議院議員)夕食勉強会のご案内について

武見敬三議員を激励すると共に、日医横倉会長他、三師会の会長によるパネルディスカッション形式による勉強会で、協力を行うことが承認された。

2. 8/1金(メリージュ)平成 26 年度 国・県に対する要望並びにヒアリング・懇談会の案内について

国・県に対する要望については、税制、医師確保、有診、予防接種、国民皆保険、看護とし、郡市医師連盟から提出された要望についても、項目毎にまとめて提出することが承認された。ヒアリングについては、河野委員長、立元常任執行委員、小牧執行委員が出席することとなった。

平成 26 年 8 月 5 日(火)第 11 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員(保険医代表)の推薦について

保険医代表の整形外科審査員が退任されたことに伴う、後任委員の推薦依頼であり、県整形外科医会から推薦の委員を推薦すること

が承認された。

2 . 8 /27(日医)小児死亡例に対する死亡時画像診断モデル事業説明会開催について

検案担当の立元常任理事の出席が承認された。

3 . 8 /30(大分)九州医師会連合会第 34回常任委員会並びに第 10回定例委員総会の開催について

常任委員会は河野会長が出席、定例委員総会は、河野会長、濱田副会長、立元・吉田常任理事の出席が承認された。常任委員会への提出議題については、河野会長に一任することとなった。

4 . 9 /16(日医)平成 26年度第 1 回都道府県医師会長協議会の開催について

今回は「消費税について」、「病床機能報告制度と地域医療ビジョンについて」の 2 つの議題にしばって開催され、河野会長の出席が承認された。

5 . 本会外の役員等の推薦について

支払基金幹事の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼であり、河野会長を推薦することが承認された。

宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議における委員の推薦について

→障がい者の虐待防止と自立支援、養護者に対する支援を適切に実施すること等を目的に設置された協議会で、任期満了に伴う推薦依頼であり、小牧常任理事を推薦することが承認された。

6 . 後援・共催名義等使用許可について

10/7(火)オルブライトホール)第 41回とっても健康セミナーご後援依頼並びに昼食会参加のお願い

→九州朝日放送が九州内の大学医学部の協力体制を得て九州各県で開催しており、名義後援を行うことと、当日の昼食会については事務局対応とすることが承認された。

10/17(金)小林市)第 54回宮崎県精神保健福祉大会の後援について

→県民の心身の健康・保持増進に努めると共に地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

10/17(金)・18(土)宮崎市)スミセイさわやか介護セミナー後援名義の使用承諾について
→県民を対象に、介護の基礎知識を学んでもらうことを目的に開催される介護実習、講演・映画鑑賞によるセミナーであり、名義後援を行うことが承認された。

10/29(火)オルブライトホール)第 1回宮崎県ふれあい文化のつどい開催の件について
→地域と交流の場を設けることにより、身体障がい・知的障がい・精神障がいに対しての正しい理解の普及を目的に開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。

11/5(水)・6(木)福岡)九州ホスピタルショウ 2014後援名義使用のお願いについて

→九州発 地域連携による健康・医療・福祉の新潮流をテーマに、医療機器、設備等の展示を中心に開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。

9 /21(日)JA -A Z M)足の健康ひろばイベント後援のお願い

→足の機能や靴に関する基礎知識と応用研究、足の障害予防、健康促進の普及等を目的に開催されるが、この法人については医師の登録が少なく、今回は後援しないことが承認された。

7 . 平成 26年度都道府県医師会救急災害医療担当理事連絡協議会について

救急災害担当の小牧常任理事の出席が承認された。

8. 11/8 (土) 石川) 全国学校保健・学校医大会について

子どもたちの明るい未来のために～学校医の新たな役割を考える～をテーマに開催される大会で、本会から河野会長、富田副会長、高村常任理事が出席することが承認された。

9. 宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

産業保健担当の佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 7 月末日現在の会員数について

3. 8 / 2 (土) 宮観ホテル) 九医連常任委員会について

4. 8 / 4 (月) 市民文化ホール) 九州地区健康教育研究大会開会式について

5. 7 / 26 (土) 東京) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会について

6. 7 / 31 (木) JA かんづめ) 新規保険医療機関への説明会について

7. 8 / 5 (火) 県庁) 医療・介護サービスの提供体制改革のための新たな財政支援制度に係る厚生労働省第 2 回ヒアリング前説明会の開催について

8. 7 / 23 (火) 県医) 広報委員会について

9. 7 / 26 (土) 日医) 男女共同参画フォーラムについて

10. 7 / 28 (月) うなまんもん) 広報委員会について

11. 8 / 5 (火) 県医) 治験審査委員会について

12. 8 / 5 (火) 県医) 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会について

13. 7 / 27 (日) 県医) 県プライマリ・ケア研究会世話人会、総会・講演会について

14. 7 / 24 (木) 県衛生環境研究所) 県衛生環境研究所調査研究評価委員会について

15. 8 / 2 (土)・3 (日) 宮観ホテル) 九州ブロック学校保健・学校医大会関連について

16. 8 / 3 (日) 宮観ホテル) 学校医部会総会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 8 / 30 (土) 大分) 九州医連連絡会第 15 回執行委員会の開催について

河野執行委員長と濱田・立元・吉田執行委員の出席が承認された。

2. 9 / 9 (火) 日医) 日医連執行委員会開催について

河野・富田執行委員の出席が承認された。

3. 9 / 10 (水) 宮観ホテル) 平成 26 年度三師会懇談会の開催について

県歯科医師会の担当で開催される懇談会で、河野委員長、富田・濱田・立元・吉田常任執行委員、小牧執行委員が出席することが承認された。

4. 9 / 13 (土) 東京) 平成 26 年度第 1 回「日医連医政活動研究会」開催について

今年度の 1 回目の研究会で、メンバーの吉田常任執行委員と清山知憲先生が出席することが承認された。

5. 9 / 20 (土) メディキット) 自由民主党宮崎県政経セミナー 2014 の開催について

自民党幹事長の石破茂衆議院議員らを講師に招き開催される政経セミナーであり、協力することが承認された。

(報告事項)

1. 7 / 29 (火) 日医) 日医連執行委員会について

2. 7 / 29 (火) 東京) 日医役員就任披露パーティについて

3. 8 / 1 (金) ホテルメリージュ) 自民党県連による国・県に対するヒアリングについて

平成 26年 8 月 12日(火)第 12回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

- 1 . 9 / 4 (木) JA 九州 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会について

6 医療機関を対象に行われる個別指導で、立元常任理事を立会人として派遣することが承認された。

- 2 . 12/10(火) 日医)平成 26年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催通知について

日医医賠償保険の運営報告や都道府県医師会の活動報告等が行われる連絡協議会で、小牧常任理事が出席することが承認された。

- 3 . 本会外の役員等の推薦について

宮崎県国民保護協議会委員及び幹事の推薦について

→武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、国民保護計画等について審議するための協議会であり、役員改選に伴い委員として河野会長、幹事としては救急災害担当の小牧常任理事を推薦することが承認された。

- 4 . 後援・共催名義等使用許可について

11/5 (水) ニューウェルシティ)医療ガス保安講習会に対する後援名義の使用について
→病院等医療機関で使用される医療ガスの安全な取扱いについて、医療従事者を対象として毎年九州地区の 2 県程度で開催しており、名義後援を行うことが承認された。

12/6 (土) JA 九州)日本医療マネジメント学会第 8 回宮崎県支部学術集会後援許可のお願いについて

→医療関係者を対象に、広げよう職種間連携とチーム医療～医療人としての和の心～をテーマに開催される学術集会で、名義後援を行うことが承認された。

- 5 . 8 / 30(土)内閣府主催の広域医療搬送訓練について

南海トラフ地震を想定し、本県・大分県・鹿児島県を被災地と想定した内閣府主催の広域医療搬送訓練であり、宮崎県災害対策本部は県庁に設置され、DMAT 指揮系統が主な訓練であるが、本会から立元常任理事が参加することが承認された。

- 6 . 9 / 12(土) 宮城)第 64回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会の開催について

常任委員会、総会・運営委員会等が開催され、富田副会長が出席することが承認された。

(報告事項)

- 1 . 週間報告について

- 2 . 8 / 6 (水) 支払基金)支払基金幹事会について

- 3 . 8 / 7 (木) 東京)医療・介護サービスの提供体制改革のための新たな財政支援制度に係る厚生労働省第 2 回ヒアリングについて

- 4 . 8 / 7 (木) 日医)日医医療情報システム協議会運営委員会について

- 5 . 8 / 9 (土) 県医)母体保護法指定医師研修会について

- 6 . 8 / 6 (水) 宮観ホテル)稲倉正孝顧問感謝の会について

県 医 の 動 き

(8月)

1	自民党県連による国・県に対するヒアリング (会長他) 県外科医会夏期講演会(岩村理事)	20	産業医研修会 日医医療秘書認定試験委員会(日医) 富田副会長) 県整形外科医会理事会(川野理事)
2	病院部会・医療法人部会病床機能に関する個別 相談会 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会(大分) (吉田常任理事他) 九州学校検診協議会専門委員会(高村常任理事) 九医連常任委員会(会長) 九州学校検診協議会幹事会(会長他) 九州各県医師会学校保健担当理事者会(会長他) 九州ブロック学校保健・学校医大会懇親会 (会長他)	21	産業医研修会
3	九州ブロック学校保健・学校医大会(会長他) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会(大分) (吉田常任理事他) 九州学校検診協議会(会長他) 病院部会・医療法人部会病床機能に関する個別 相談会 九医連学校医会評議員会(会長他) 九州地区健康教育研究大会合同会議(会長) 学校医部会総会(富田副会長他) 学校保健会理事会(会長)	22	産業医研修会 県内科医会医療保険委員会(小牧常任理事) 医師国保組合理事会(秦理事長他)
4	九州地区健康教育研究大会開会式(会長他)	23	九州地区医師国保組合連合会監査会(熊本) 九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協議 会(熊本) 佐々木理事) 全国国保組合協会九州支部幹事会・総会(熊本) (佐々木理事) 中四九地区医師会看護学校協議会(広島) (立元常任理事)
5	地域医療現場における働きやすい環境を考える 会検討会(荒木常任理事) 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 (池井常任理事) 治験審査委員会(富田副会長他) 第11回常任理事協議会(会長他)	24	中四九地区医師会看護学校協議会(広島) (立元常任理事) TPP問題シンポジウム「宮崎からTPPを考える - TPPでわたしたちの暮らしはどう変わる? -」 (富田副会長)
6	支払基金幹事会(会長) 稲倉正孝顧問感謝の会(会長他)	25	広報委員会(荒木常任理事)
7	医療・介護サービスの提供体制改革のための新 たな財政支援制度に係る厚生労働省ヒアリング (東京) 富田副会長) 日医医療情報システム協議会運営委員会(日医) (富田副会長) 県産婦人科医会全理事会(濱田副会長)	26	医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 県災害対策本部総合対策部本部運営訓練(事務局) 県立看護大学あり方検討委員会(会長) 第4回全理事協議会(会長他) 役職員懇談会(会長他)
9	母体保護法指定医師研修会(濱田副会長他)	27	労災診療指導委員会(川野理事) 小児死亡事例に対する死亡時画像診断モデル 事業説明会(日医) 立元常任理事) 自民党県第一選挙区支部総会(会長) 勤務医部会理事会(富田副会長他)
11	県内科医会会誌編集委員会(小牧常任理事他)	28	産業医研修会(都城) 生活習慣病検診各部会長連絡会議(会長他)
12	医協打合会(立元常任理事) 第12回常任理事協議会(会長他)	29	東九州メディカルバレー構想県推進会議 (池井常任理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会(会長)
16	産業医研修会(前期) 佐々木常任理事) 県有床診療所協議会総会(会長他)	30	総合防災訓練における広域医療搬送訓練 (立元常任理事) 在宅医療協議会役員会(牛谷常任理事他) 在宅医療協議会総会・研修会(牛谷常任理事他) 九医連常任委員会(大分) 会長) 九医連定例委員総会(大分) 会長他) 九州医連連絡会執行委員会(大分) 会長他)
19	県後期高齢者医療広域連合療養費適正化委員会 (川野理事他) 医協理事会(富田副会長他) 第13回常任理事協議会(会長他)	31	日本プライマリ・ケア連合学会九州支部長会 (福岡) 金丸常任理事)

追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

相 良 直 矢 先生

(昭和 2 年 11 月 24 日 生 87 歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き相良直矢先生のご葬儀が執り行なわれるにあたり、都城市北諸県郡医師会を代表いたしまして、謹んで先生のご霊前に哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生は、これまで地域医療一筋にご活躍をされてこられました。先生が昨年 3 月に医院を閉院し、ご自宅にて療養された後、都城市郡医師会病院にご入院されておられましたので、私も会員一同、一日も早いご回復を念じておりました。

しかし、去る 7 月 12 日の午後 6 時 2 分、医療スタッフの懸命な治療や奥様、ご家族の手厚い看護にもかかわらず、先生がご逝去されたとの突然の訃報を受け、痛恨の念に絶えず残念で仕方ありません。

先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、最愛なるご主人様を亡くされた奥様のお悲しみは、察するに余りあり、ご遺族の皆様方のご悲嘆は、如何ばかりかと心中お察し申し上げます。私も医師会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和 2 年 11 月 24 日、12 人兄弟の長男として、地元都城市でお生まれになられました。長じて医学の道を志し、昭和 26 年に九州高等医

学専門学校をご卒業、久留米医科大学附属病院にて実地修練を積まれ、昭和 27 年 8 月に久留米大学副手に命ぜられ、医学部第一内科に勤務、医師としてのスタートをきられました。その後、昭和 28 年 12 月に同大学助手、昭和 33 年 10 月に同大学講師を歴任され、昭和 34 年 1 月に第一内科外来医長を拝命されておられます。その間、昭和 33 年には医学博士の学位も取得されておられます。

昭和 34 年 8 月には、日南市立中部病院に内科医長として勤務され、昭和 37 年 9 月に、地域医療に貢献されるべく、都城市前田町に「相良内科医院」を開業され、以来、医師として今日まで、50 年以上もの永きにわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上に貢献をされてこられました。

先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、都城市北諸県郡医師会公衆衛生担当理事として都城健康サービスセンター副所長兼管理部長を昭和 57 年から 6 年間、引き続き副会長として同センター第 6 代所長を昭和 63 年から 6 年間、お引き受けいただきました。

また、昭和 60 年の同センター副所長兼管理部長時代には都城健康サービスセンターの大岩田町への新築移転、施設の機能充実、発展に多大なるご貢献、ご尽力をいただきました。

これらのご功績に対し、昭和 62 年に公衆衛生事業功労として、宮崎県知事表彰を受賞、また、平成 8 年には、厚生大臣表彰を受賞されておられます。

更に、看護師の養成にも積極的に取り組まれ、昭和 48 年から 25 年間、都城看護専門学校の講師を務め、看護師の育成にも多大な貢献をされています。

また、宮崎県立都城西高等学校の学校医を昭和 39 年から 48 年間もの永きにわたり務められ、

生徒の健康管理，保健衛生に精力的に取り組まれました。これらのご功績に対し，平成 9 年に学校保健功労として宮崎県教育長表彰を受賞されておられます。

一方，診療を離れると先生はゴルフがお好きで，若い頃はよく会員の先生方と行かれたとお聞きしております。

先生は，お子様が 4 人おられますが，ご長男でありますご子息が医師としてすでにご活躍中であり，立派に先生のご意志を継いで我が国の最新医療に取り組まれておられますので，先生もさぞかしご安心のことと思います。

先生，これからは，遥か彼方より，ご子息の

ご活躍とご家族の安泰，ご繁栄，医師会の発展を末永く見守りください。

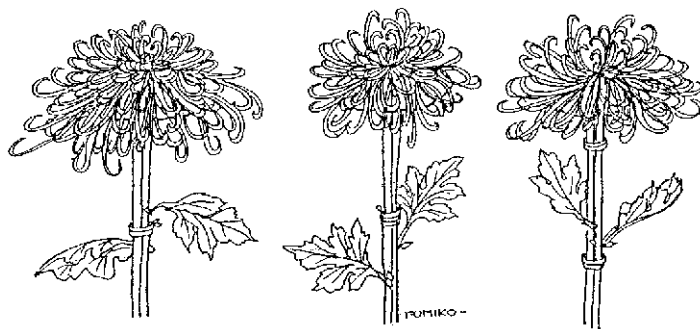
最後に，先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し，深い尊敬と感謝の念を表し，先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ，お別れの言葉と致します。

平成 26年 7 月 15日

一般社団法人

都城市北諸県郡医師会

会長 飯 田 正 幸



追 悼 の こ と ば

宮崎市郡医師会

高^{たか}木^ぎ秀^{ひで}昭^{あき} 先生

(昭和 2 年 7 月 19 日生 87 歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き、
高木秀昭先生のご霊前に、
宮崎市郡医師会を代表して、
謹んでお別れの言葉を申し
上げます。

一昨日、先生の突然のご
訃報に接し、会員一同、
深い悲しみに包まれており
ます。

今ここに、先生のご遺影に向かい、お別れの
言葉を申し上げる事になろうとは、誠に残念、
痛恨の極みでございます。

ましてや、奥様をはじめご家族の皆様方のお
嘆きは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心よ
り哀悼の意を捧げる次第でございます。

先生は、昭和 2 年 7 月 19 日、5 人兄弟のご長
男としてお生まれになり、幼少にしてその才
誉れ高く、昭和 29 年 3 月に大阪大学医学部を優秀
な成績でご卒業になられた後、県立宮崎病院小
児科、大阪大学医学部附属病院小児科において
ご研鑽をつまれ、昭和 35 年 11 月には文部教官と
して大阪大学医学部助手に就任されました。そ
の後、昭和 36 年 8 月から、当時お父様が院長で
あられた高木小児科医院勤務を経て、昭和 42 年
3 月に院長を継承されました。以来、48 年の歳
月をひたすら医療現場の第一線において、昼夜
の別なくご診療に献身的に従事され、地域医療
の充実と地域住民の健康福祉の向上発展にご尽
力されてこられました。先生の誠実で飾り気の
ない、そして温かいお人柄は、地域の人々にも
親しまれ、多くの患者さんから信望を集めて、
地域に根ざした診療活動を展開され、我々医師
会員にとりまして、正に範たるものでありま
した。

先生はご多忙なご診療の傍ら、医師会活動に
も積極的にご参加いただきました。昭和 55 年 4
月から昭和 61 年 3 月まで宮崎市郡医師会理事を
6 年、昭和 55 年 4 月から平成 2 年 3 月まで宮崎
県小児科医会副会長を 10 年、平成 2 年 4 月から
平成 10 年 3 月まで同会長を 8 年努められ、医師
会の健全な発展と医道の昂揚及び小児医療の発
展向上にご尽力されました。

また、学校保健活動として、昭和 3 年 4 月か
ら宮崎中学校学校医を 2 年、昭和 38 年 4 月から
宮崎小学校学校医を 50 年、昭和 45 年 4 月から多
数の保育園や幼稚園の園医を長年にわたり努め
られ、児童生徒の良好な発育、健康保持増進に
努力されてこられました。これら学校保健に尽
くしたご功績により、昭和 53 年 2 月に宮崎市学
校保健功労者表彰、昭和 63 年 11 月に宮崎県教
育長表彰、平成 20 年 11 月に文部科学大臣表彰を受
けられております。

一方、診療を離れましては、読書が大変お好
きで多数の書籍等をお読みなっていたと伺って
おります。

ご家庭にありましては、お子様がお二人おら
れますが、お二人とも医師としてすでにご活躍
中であり、ご長男の純一先生が高木小児科医院
を継承されるとお聞きしておりますので、先生
もさぞかしご安心のことと存じます。

私ども会員一同は、先生のご遺志を継いで地
域医療の充実に、なお一層の努力をいたして参
りたいと存じます。

高木先生、惜別の情尽くし得ませんが、ここ
に謹んで先生のご霊前に哀悼の意を捧げ、地域
医療に対する永年のご功績に心から感謝と敬意
を表し、ご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言
葉といたします。

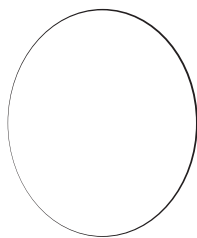
先生どうぞ安らかに眠り下さい。

平成 26 年 7 月 28 日

公益社団法人宮崎市郡医師会

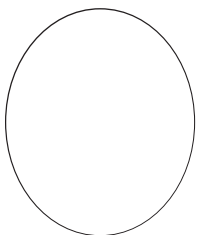
会長 川 名 隆 司

ニューメンバー

宮崎市
海老原クリニックえ び はら ふみ たか
海老原 史 高

住 所	宮崎市
専門科目	内科，腎臓内科
家族構成	妻
略 歴	平成 13年 日向学院卒業 平成 20年 日本大学医学部卒業 平成 22年 宮崎大学医学部第 1 内科 入局 平成 26年 海老原クリニック院長
趣 味	スノーボード，ダーツ， スポーツ観戦

抱 負 父親の急逝で宮崎にもどって6年が経ちました。宮崎大学で初期臨床研修を行い，その後，宮崎江南病院，千代田病院，大学病院で内科外来，病棟業務，血液浄化療法，ブラッドアクセス手術を経験させていただき，平成 26年 3 月に海老原クリニックの院長に就任しました。当院では末期腎不全の患者さんに外来通院で血液透析を施行しておりますが，CKD を中心とした一般外来診療も行っています。今年から宮崎市CKD 連携システムが運用になりましたので，腎不全医療を通してより一層地域医療に貢献していければと考えております。御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

都城市
藤元総合病院ふじ わら とし なり
藤 原 利 成

住 所	都城市
専門科目	消化器内科 / 炎症性腸疾患
家族構成	妻，長女(3 歳)
略 歴	平成 4 年 埼玉県立春日部高校卒業 平成 19年 宮崎大学医学部卒業， 同病院にて初期臨床研修 平成 21年 宮崎大学医学部第 2 内科 入局
勤 務 先	串間市民病院(2 年)，市民 の森病院(2 年)，社会保険 中央総合病院勤務(1 年)， 藤元総合病院(H 26年 4 月 から)
趣 味	フォークギター

抱 負 出身・育ちは埼玉ですが，宮崎で学生時代に妻と知り合い結婚しました。昨年度は東京の社会保険中央総合病院の IBD センターで研鑽を積んできました。消化器内科医としてはまだまだ半人前ですが，腰を落ち着ける場所を探して都城の藤元総合病院に赴任してきました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。仕事と育児で趣味はしばらく休業していますが，自宅にスタジオを作るのが夢です。

医師国保組合だより

被保険者証の一斉更新について

医師国保組合の被保険者証を下記のとおり一斉更新いたします。

- 更新日は平成 26 年 10 月 1 日で、有効期限は 2 年間です。
- 新しい被保険者証は、9 月下旬、組合員宛に簡易書留にてお届けします。
- 期限切れの被保険者証(水色)は、平成 26 年 10 月 15 日(水)までに、同封の返信用封筒にてご家族全員分をまとめて返還してください。
- ご返還の際には、被保険者証(水色)にハサミを入れてください。
- 記載事項に誤りや変更等がありましたら、医師国保組合までご連絡ください。

～ お ね が い ～

被保険者証をカード化してから紛失が増加しております。
大切な個人情報に記載されておりますので、管理には十分にご配慮ください。

日曜日の集団健診について

日曜日の集団健診を実施中です。予約は当組合までお電話ください。
(対象者には、健康診断個人票をお送りしております。)

実施機関：宮崎市郡医師会成人病検診センター

平成 26 年	10 月 19 日(第 3 日曜日)	定員各 20 名 (子宮頸がん検診及び 内視鏡検査は不可)
	11 月 16 日(第 3 日曜日)	
平成 27 年	1 月 18 日(第 3 日曜日)	
	2 月 1 日(第 1 日曜日)	
	2 月 15 日(第 3 日曜日)	
	3 月 1 日(第 1 日曜日)	

宮崎県医師国民健康保険組合の役員について

任期満了に伴う改選の結果、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

任期：平成 26 年 7 月 24 日～平成 28 年の通常組合会終結時まで

理事長	秦 喜八郎	理 事	高 村 一 志
副理事長	大 坪 睦 郎	理 事	川 野 啓一郎
副理事長	濱 田 政 雄	理 事	佐 藤 信 博
常務理事	高 橋 政 見	理 事	糸 数 智 美
理事(法令遵守担当)	佐々木 究	監 事	棚 田 敏 文
理 事	矢 野 裕 士	監 事	山 路 健

宮崎県医師国民健康保険組合 ☎ 0985-22-6588

当組合ウェブサイトから各種様式がダウンロードできます。

<http://www.miyazakimed.or.jp/kokuho/>

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 26年 8 月 15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1 . 求職者登録数 4 人

1) 男性医師求職登録数 4 人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	2	1
外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0 人

2 . 斡旋成立件数 49人

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 26 年 度	1	1	2
平成 16年度から累計	35	14	49

3 . 求人登録 81件 330人 (人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	101	76	25
外 科	35	28	7
整 形 外 科	27	22	5
精 神 科	17	12	2
循 環 器 科	6	6	—
脳 神 経 外 科	10	8	2
消 化 器 内 科	15	12	3
麻 酔 科	12	8	4
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	12	10	2
小 児 科	4	3	1
呼 吸 器 内 科	11	10	1
リハビリテーション科	3	3	—
総合診療科・内科	5	4	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	6	6	—
健 診	5	2	3
産 婦 人 科	3	3	—
泌 尿 器 科	1	—	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	—
在 宅 担 当 医	1	1	—
そ の 他	32	27	5
合 計	330	263	67

求 人 登 録 者 (公 開)

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医 三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外 , 整 , 放 , 麻 , 内	10	常勤・非常勤
160017	医 プレストピア プレストピアなんば病院	宮 崎 市	乳外 , 内 , 麻	3	常勤
160020	財 弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精 , 内	2	常勤
160031	社医 同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼 , 神内 , 眼 , 総診 , 呼外 , 臨病 , 乳外 , 整外 , 麻酔	11	常勤
160033	医 如月会 若草病院	宮 崎 市	精	2	常勤
170046	医 社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内 , 内分泌 , 呼 , リウマチ , 神経内 , 健診	6	常勤・非常勤
170048	医 慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内 , 放 , 在宅医療	3	常勤
170052	医 春光会	宮 崎 市	外 , 内	6	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内 , 神内 , 整 , 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内 , 呼内	6	常勤
190094	医 耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内 , 外 , 整	8	常勤・非常勤
190095	医 慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
190096	医 晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化 , 麻 , 循 , リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医 社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内 , 外 , 救急 , 呼外 , 婦人	7	常勤
200105	医 誠友会 南部病院	宮 崎 市	内 , 外 , 放	3	常勤
210110	医 幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内 , 外 , 整	12	常勤・非常勤
230128	医 真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内 , 精	2	常勤
230132	医 康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医 慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内 , 外	2	常勤
230140	医 将優会 クリニックうしたに	宮 崎 市	外 , 内 , 整 , 家庭医 , 総合臨床	1	常勤
230141	医 博愛社 佐土原病院	宮 崎 市	内	1	非常勤
230143	医 社団孝寿会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外 , 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	総内 , 呼吸内 , 消化器内 , 健診	8	常勤・非常勤
230146	財 潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内 , 神内 , 外 , 整外 , 脳外 , リハ , 麻酔 , 救急 , 緩和ケア	10	常勤
230148	医 コムコ美容外科	宮 崎 市	美外 , 形成外 , 外 , 麻酔	8	常勤・非常勤
230159	医 常聖会 巴外科内科	宮 崎 市	内	1	非常勤
230161	医 建心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内	2	常勤・非常勤
160008	医 正立会 黒松病院	都 城 市	泌	1	非常勤
160010	特医 敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内 , 消内 , 整 , 神内	7	常勤・非常勤
160018	医 宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内 , 救急 , 放射 , 脳外 , 外 , 眼 , 透内 , 皮膚	8	常勤
170057	医 清陵会 隅病院	都 城 市	内 , 外 , 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内 , 内 , 呼内 , 総合内	4	常勤
180081	医 恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内 , 呼	6	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
210114	藤元病院	都 城 市	精 ,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外 ,内 ,整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内 ,リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放 ,消内 ,消外 ,健診	8	常勤・非常勤
230157	医)一誠会 都城新生病院	都 城 市	精 ,内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内 ,透 ,循内 ,救急 ,放射 , 病理 ,呼吸内 ,精	16	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外 ,整 ,放 ,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外 ,内 ,緩ケア	6	常勤・非常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内 ,外 ,麻 ,精 ,神内 , 脳神経 ,老施 ,心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦 ,内 ,小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内 ,消外 ,内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内 ,小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内 ,外	2	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外 ,内 ,整 ,神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内 ,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	東 郷 町	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内 ,放 ,外	3	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整 ,内 ,総合診療 ,麻 ,眼 , 健診 ,循 ,脳	10	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内 ,外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精 ,内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内 ,外 ,整 ,リハビリ ,在宅診療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内 ,外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内 ,整 ,皮膚	5	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	循 ,救急 ,産婦 ,放 ,小	10	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外 ,内 ,整	7	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精 ,内	3	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整 ,内	4	常勤・非常勤
230155	医)三和会 池田病院	小 林 市	脳外 ,整 ,麻 ,内 ,放射 ,外	7	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内 ,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内 ,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内 ,整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 26 年 8 月 15 日現在

1. 譲渡物件	宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番 , 263 番 土地のみ : 593.57 坪 (2022.17m ²) ＜所有者 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック＞
2. 譲渡又は 賃貸物件	宮崎市大字本郷南方 407 番 建物 鉄筋コンクリート 2 階建 (905m ²) 駐車場 14 台分 別途職員専用駐車場有り ＜黒岩医院跡＞

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 (宮崎県医師協同組合)

0985-23-9100 (代) ・ FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakimed.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26年 8 月 2日現在

9 月			
1	月	19 00	県内科医会理事会
2	火	18 00 19 00	治験審査委員会 第 14回常任理事協議会
3	水	19 00 19 00	土曜会(報道機関支局長の会)との 懇談会 県警察医会協議会
4	木	13 00 15 30 18 00	社会保険医療担当者(医科)の個別 指導 (日医)日医医療情報システム協議会 運営委員会 宮崎銀行経営説明会
5	金	19 00	宮崎信販との懇談会
6	土	15 00	県医学会
7	日		
8	月	19 00	医学会誌編集委員会
9	火	16 00 18 20 19 00	(日医)日医連執行委員会 医協打合せ会 第 15回常任理事協議会
10	水	16 00 19 00	支払基金幹事会 三師会懇談会
11	木	19 00 19 30	県糖尿病対策推進会議幹事会 県産婦人科医会常任理事会
12	金	12 30 13 40 15 00 19 30	全国医師国保組合連合会代表者会 全国医師国保組合連合会全体協議会 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 広報委員会
13	土	8 30 15 00	全国医師国保組合連合会全体協議会 園医部会総会・医学会
14	日	8 30	全国医師国保組合連合会全体協議会
15	月		(敬老の日)
16	火	15 00 18 15 19 00	(日医)都道府県医師会会長協議会 医協理事会 第 16回常任理事協議会
17	水	19 00	リスクマネジメント・ラボラトリー との懇談会
		13 00 13 30 14 00 18 30	(日医)都道府県医師会救急災害 医療担当理事連絡協議会 全国国民健康保険組合協合理事 長・役員研修会 日医認証局LRA説明会 社会保険医療担当者(医科)の 集团的個別指導
		14 00 19 00	産業医研修会 医療現場のワークライフバランス セミナー
		16 00 16 00	九医連常任委員会 九医連各種協議会
		13 00	県産婦人科医会新生児蘇生法 講習会
		18 00 19 00	みやざき若手医師キャリア プラン講演会・交流会 広報委員会
		10 00 12 00	(秋分の日) 九州ブロック初期・後期臨床 研修進路説明会実行委員会 九州ブロック初期・後期臨床 研修進路説明会
		15 00	労災診療指導委員会
		10 00 19 00 19 00 19 30	日本看護学会学術集会開会式 産業医部会理事会 労災部会自賠委員会 損害保険医療協議会
		14 00	(日医)日医大学医学部・医学会女性 医師支援担当者連絡会
		14 30 15 00 15 40 16 30	産業医研修会(前期) 県産婦人科医会秋期総会・市民公開 講座 全医秘協常任委員会 全医秘協定例総会・運営委員会
		19 00 19 30	医師国保組合理事会 医師国保組合退任役員慰労会
		18 15 終了後 18 45 19 30	第 5 回全理事協議会 医協理事・運営委員合同協議会 各都市医師会長協議会 宮崎大学医学部教授等と県医師会 役員等との懇談会

都合により、変更になることがあります。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 26 年 8 月 2 日現在

10 月			
1	水		17 金
2	木		18 土
3	金		19 日
4	土	14 00 (日医)日医「2020.30」推進懇話会 15 00 県警察医会総会・特別講演会	20 月
5	日	13 00 (日医)日医医療安全推進者養成講座 講習会	21 火
6	月		22 水
7	火	19 00 第 1 回常任理事協議会	23 木
8	水	16 00 支払基金幹事会	24 金
9	木	10 30 (日医)産業保健活動推進全国会議 13 00 社会保険医療担当者(医科)の個別 指導 19 00 産業医研修会 19 30 県産婦人科医会常任理事会	25 土
10	金	15 00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会	26 日
11	土	9 00 ICLS 指導者養成ワークショップ	27 月
12	日	8 30 ACLS 研修会	28 火
13	月	(体育の日)	29 水
14	火	19 00 第 18 回常任理事協議会	30 木
15	水		31 金
16	木	13 00 社会保険医療担当者(医科)の個別 指導 19 00 県内科医会学術委員会 19 30 広報委員会	

都合により、変更になることがあります。

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E -Mail genko @ m iyazakim ed.or.jp

FAX 0 9 8 5 -2 7 -6 5 5 0

TEL 0 9 8 5 -2 2 -5 1 1 8

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注 FAX の際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

き
り
と
り
せ
ん

お名前

ご所属

TEL

FAX

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位 日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診 各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 42回ひむか運動 器セミナー 9 月 2 日(火) 18 50~ 20 30 宮崎観光ホテル	変形性膝関節症に対する保存的治療の有効性と課題 島根大学医学部整形外科学教室教授 内尾 祐司	共催 ひむか運動器セミナー 昭和薬品化工(株) ☎ 0120-56-4089	1	61 62
第 49回宮崎県耳鼻 咽喉科懇話会 9 月 4 日(木) 18 00~ 20 00 M R T m i c c	嚥下障害の評価と外科的治療 福岡山王病院耳鼻咽喉科部長 梅崎 俊郎 頭頸部癌治療 - 最近の動向 - 横浜市立大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 折館 伸彦	共催 宮崎県耳鼻咽喉科懇話会 プリストル・マイヤーズ(株) ☎ 099-805-3325 後援 日耳鼻宮崎県地方部会 宮崎県耳鼻咽喉科医会	2	1 3 25 49
第 15回宮崎 B D 講演会 9 月 5 日(金) 18 45~ 20 30 宮崎観光ホテル	潰瘍性大腸炎治療のUpdate - 基本から応用へ - 東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座 教授 鈴木 康夫	共催 宮崎県内科医会 杏林製薬(株) ☎ 0985-27-3301	1.5	1 53 54

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 32 回宮崎呼吸器 乳腺懇話会 9 月 5 日(金) 19 00~ 20 30 KITEN	肺結核，肺非結核性抗酸菌症の診断と治療について - 一般の内科医外科医が知っておくべきポイント - 国立病院機構宮崎東病院呼吸器内科部長 伊井 敏彦 参加費 500円(学生・コメディカルは無料)	共催 宮崎呼吸器乳腺懇話会 協和発酵キリン(株) ☎ 0985-22-8801	1.5	2 45 46
延岡医学会学術 講演会 9 月 5 日(金) 19 00~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	尿酸と血管内皮機能 広島大学原爆放射線医科学研究所教授 東 幸仁	共催 延岡医学会 帝人ファーマ(株) ☎ 0985-31-4870 後援 延岡内科医会	1.5	11 73 82
宮崎市郡産婦人科 医会学術講演会 9 月 5 日(金) 19 00~ 20 00 ホテルメリージュ	子宮内膜発育不全の病態と治療 山口大学医学系研究科産婦人科学教授 杉野 法広	共催 宮崎市郡産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434 日本新薬(株)	1	9 84
第 22 回都城緩和 ケア研究会 9 月 6 日(土) 13 30~ 16 40 都城市北諸県郡医 師会館	多職種からみた緩和ケア 三州病院緩和ケア病棟 溝口 裕郁 他 参加費 500円	主催 都城緩和ケア研究会 共催 田辺三菱製薬(株) 後援 宮崎県医師会 他 (連絡先) 三州病院 ☎ 0986-22-0230	3	80 81

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
平成 26年度宮崎県 医師会医学会 9 月 6 日(土) 15 00~ 17 00 県医師会館	遺伝カウンセリングはなぜ必要か 宮崎大学医学部附属病院産婦人科病院教授 山口 昌俊 海外旅行者の発熱 国立国際医療研究センター 国際感染症対策室医長 加藤 康幸	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	4 5 9 11
第 19回宮崎県呼吸 ケア研究会 9 月 6 日(土) 15 00~ 17 30 ホテルスカイタワー	運動耐容能から身体活動性へ - これからの呼吸リハビリテーションのかたち - 東北大学医学系研究科産業医学分野教授 黒澤 一 参加費 500円	共催 宮崎県呼吸ケア研究会 帝人在宅医療(株) ☎ 0985-25-6613 後援 宮崎県医師会他	2.5	10 45 73 80
第 26回宮崎県糖尿 病教育セミナー 9 月 7 日(日) 9 55~ 16 45 かんぼの宿日南	糖尿病網膜症の現状と治療 みつとめ眼科理事長 満留 武宣 糖尿病腎症 Up to date 千葉大学医学研究院細胞治療内科学 内分泌・代謝・血液内科准教授 竹本 稔 他 参加費 3,000円	共催 宮崎県糖尿病懇話会 ノボルディスクファーマ(株) ☎ 0985-20-1891 後援 宮崎県医師会 他	5	1 2 5 9 10 15 23 36 76 82
南那珂医師会生涯 教育医学会 9 月 10日(水) 18 50~ 20 00 南那珂医師会館	骨粗鬆症治療の最近の動向 - 新しい治療薬とリエゾンサービス - 宮崎大学医学部附属病院整形外科助教 渡邊 信二	共催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 第一三共(株)	1	77

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 88 回 江 南 医 療 連 携 の 会 ・ 症 例 検 討 会 9 月 11 日 (木) 19 00~ 20 30 宮崎江南病院	変形した膝蓋骨に生じた骨折に対してひまわり法を 用いて手術を行った 1 例 宮崎江南病院整形外科医長 坂田 勝美 輸入感染症としての麻疹の 1 例 同内科医長 田中 弦一 最近の大腸症例 同外科主任部長 秦 洋一	主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575	1.5	53 56
宮崎県内科医会学術 講演会 9 月 12 日 (金) 18 40~ 20 40 ガーデンテラス宮崎	脂質異常症治療 Update LDL 治療の新展開と HDL 治療の展望 防衛医科大学校神経・抗加齢血管内科 教授 池脇 克則 多彩になった 2 型糖尿病の薬物療法 - その特性と適応 - 昭和大学糖尿病・代謝内分泌教授 平野 勉	共催 宮崎県内科医会 アストラゼネカ(株) ☎ 0985-38-6611 小野薬品(株)	2	5 11 23 76
延岡医学会学術 講演会(第 29 回宮崎 県北脈管研究会) 9 月 12 日 (金) 18 45~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	広範囲胸部大動脈瘤の外科治療 宮崎大学医学部循環呼吸・総合外科学分野教授 中村 都英	共催 延岡医学会 宮崎県北脈管研究会 大正富山医薬品(株) ☎ 092-451-7884	1.5	10 44 62
都城市北諸県郡医 師会病院部会学術 講演会 9 月 12 日 (金) 19 10~ 20 40 都 城 ロ イ ヤ ル ホテル	当院におけるリコモジュリンの使用状況 都城市郡医師会病院内科医長 西浦 亮介 肺血症の治療において抗凝固療法は必要なのか? - 実臨床および基礎研究の知見をふまえて - 佐賀大学医学部救急医学講座教授 阪本 雄一郎	共催 都城市北諸県郡医師会病院部会 ☎ 0986-22-0711 旭化成ファーマ(株) ファイザー(株)	1.5	16 19 32

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
平成 26年度宮崎県 医師会園医部会・ 総会研修会 9 月 13日(土) 15 10~ 17 30 県医師会館	メディア漬けで壊れる子どもたち - スマホ社会の落とし穴 - 日本小児科医会理事 内海 裕美	主催 宮崎県医師会園医部会 ☎ 0985-22-5118	2	5 11 12 72
宮崎インスリン 療法研究会 9 月 13日(土) 17 00~ 18 30 宮崎観光ホテル	日本人にふさわしい糖尿病食事療法とは？ 杏林大学医学部第三内科教授 石田 均	共催 宮崎インスリン療法研究会 日本イーライリリー(株) ☎ 080-2439-6419	1.5	2 73 82
宮崎市郡内科医会 学術講演会 9 月 13日(土) 18 00~ 19 15 ホテルJA Lシティ 宮崎	認知症とその周辺 - 認知症の早期発見に向けて - けいめい記念病院副院長 岡原 一徳	共催 宮崎市郡内科医会 ☎ 0985-53-3434 武田薬品工業(株)	1	15 29
第 1回宮崎神経眼 科セミナー 9 月 13日(土) 18 30~ 21 00 宮崎観光ホテル	チャレンジ神経眼科学 - とっておきの 4 問 愛知淑徳大学健康医療科学部教授 柏井 聡 参加費 2,000円	共催 宮崎神経眼科ネットワーク 参天製薬(株) (連絡先) 尾崎眼科 ☎ 0982-52-5600	2.5	1 2 13 36

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 6 回児湯内科医 会学術講演会 9 月 16 日(火) 19 00~ 20 30 ホテル四季亭	糖尿病に対するトータルマネジメント - SGLT 2 阻害剤の使用を含めて - 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌代謝学分野 上野 浩晶	共催 児湯内科医会 ☎ 0983-22-1641 アステラス製薬(株) M SD (株)	1.5	11 76 82
南那珂医師会生涯 教育医学会 9 月 16 日(火) 19 15~ 20 30 南那珂医師会館	喘息診療の肝 琉球大学第一内科 原永 修作	共催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株)	1	45
宮崎県医師会産業 医研修会 9 月 1 日(水) 14 00~ 16 00 都城圏地域産業 振興センター	(4)メンタルヘルス対策 アサーション - はじめの一步は聞くことから - 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 6 8 13
西臼杵地区学術 講演会 9 月 18 日(木) 19 00~ 20 00 ホテル高千穂	ピロリ菌のはなし 胃癌は感染症！？ - ピロリ菌発見の歴史から最近の話題まで - 高千穂町国民健康保険病院内科主任医長 押方 慎弥	主催 西臼杵郡医師会 ☎ 0982-73-2010 共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 第一三共(株)	1	21 52

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 188回 宮崎県泌尿器科医会学術講演会 9 月 18日(木) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	欧州泌尿器科学会(EAU)について 宮崎大学医学部泌尿器科学 杉江 悟 米国泌尿器科学会(AUA)について 宮崎大学医学部泌尿器科学講師 月野 浩昌 米国臨床腫瘍学会(ASCO)について 宮崎大学医学部泌尿器科学講師 向井 尚一郎	共催 宮崎県泌尿器科医会 日本新薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968	1.5	9 10 84
宮崎大学がん診療部医療連携講演会 9 月 19日(金) 18 50~ 20 50 M R T m i c c	転移性脳腫瘍の集学的治療ガイドライン 静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科部長 中洲 庸子	共催 宮崎大学医学部附属病院がん診療部 エーザイ(株) ☎ 0985-26-2676	1	35
医療現場のワークライフ・バランスセミナー 9 月 19日(金) 19 00~ 20 40 宮崎観光ホテル	ワークライフバランスの先に見えてきた世界 - 大学教員, 研究者, 小児科医, 医師の妻として - 女子栄養大学栄養学部教授 藤巻 わかえ - 大学教員, 上司, 脳神経外科医, 医師の夫として - 埼玉医科大学脳神経外科教授 藤巻 高光	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	1.5	1 2 10
第 56回 都城心臓血管懇話会 9 月 19日(金) 19 15~ 20 15 ホテル中山荘	病診連携を念頭においた心不全患者のマネージメント 鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学助教 窪 園 琢郎 鹿児島大学病院における成人先天性心疾患外来の現状と取組み 同講師 高崎 州亜 冠動脈疾患・高血圧・心房細動・弁膜症・肺高血圧領域における病診連携の展望 同教授 大石 充	共催 都城心臓血管懇話会 興和創薬(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711	1	74 76

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎木曜会 月見の会 9 月 25 日(木) 19 00~ 20 30 M R T m i c c	炎症性腸疾患 診断ピットフォールと新しい治療 戦略 札幌厚生病院 IBD センター主任部長 本谷 聡	共催 宮崎木曜会 ゼリア新薬工業(株) ☎ 092-411-1241	1.5	50 53 54
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 9 月 25 日(木) 19 15~ 20 45 ホテル中山荘	心疾患治療における RAAS の重要性 - 心保護, 腎保護をいかに行うか - 日本大学医学部外科学系 心臓血管・呼吸器・総合外科学分野講師 瀬在 明	共催 都城市北諸県郡医師会 第一三共(株) ☎ 0986-22-0711	1.5	2 73 74
延岡医学会学術 講演会 9 月 26 日(金) 19 00~ 20 10 ホテルメリージュ 延岡	糖負荷試験からみた 2 型糖尿病の病態と治療戦略 宮崎大学医学部神経呼吸内分泌代謝学分野講師 迫田 秀之	共催 延岡医学会 第一三共(株) 田辺三菱製薬(株) ☎ 0985-32-9505 後援 延岡内科医会	1	15 82
宮崎県医師会産業 医研修会 9 月 2 日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館	(6)作業管理 産業医に必要な職場における作業管理の基礎知識 宮崎県立看護大学看護学部教授 江藤 敏治 (7)有害業務管理 職域に必要不可欠な危険有害業務管理 1 労働安全 対策 川瀬治労働安全コンサルタント事務所 代表 川瀬 治 (7)有害業務管理 職域に必要不可欠な危険有害業務管理 2 労働衛生 対策 宮崎県立看護大学看護学部教授 江藤 敏治 基礎研修の前期研修会 4 単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	3 5 8 9 11 12 13 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
平成 26年度宮崎県 産婦人科医会・宮 崎県産科婦人科学 会秋期定時総会 9月27日(土) 15 00~ 18 30 県医師会館	婦人科がんサバイバーシップ 他 岐阜大学医学系研究科産科婦人科学分野 教授 森重 健一郎	主催 宮崎県産婦人科医会 宮崎県産科婦人科学会	3	1 2 5 8 11 84
第 91回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 9月29日(月) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	虚血性心疾患のOptimal Medical Therapyに ついて 千葉大学医学研究院循環病態医学科学教授 小林 欣夫	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 サノフィ(株)	1.5	2 9 15
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 9月29日(月) 19 00~ 20 30 都 城 ロ イ ヤ ル ホテル	気管支喘息治療におけるSMART療法の有用性 長崎大学医歯薬学総合研究科 呼吸器病態制御学講師 尾長谷 靖	共催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株)	1.5	45 46 79
西諸医師会・西諸 内科医会同学会 講演会 9月29日(月) 19 00~ 21 00 ガーデنبルズ 小林	狭心症患者の外来マネジメント 鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学助教 内匠 拓朗 心房細動後のカテーテルアブレーション 同講師 桶谷 直也 高血圧・弁膜症・心不全・肺高血圧領域における 病診連携の展望 同教授 大石 充	主催 西諸医師会 西諸内科医会 共催 第一三共(株)	2	19 33 43 69

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ＝ 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県警察医会総 会・特別講演会 10月4日(土) 15 30～ 17 00 県医師会館	鈍器損傷の観察 北海道大学医学研究科・医学部法医学分野 教授 寺沢 浩一	主催 宮崎県警察医会 ☎ 0985-22-5118	1.5	1 2 4
第 27 回 宮 崎 乳 腺 疾患研究会 10月4日(土) 17 30～ 19 30 宮崎観光ホテル	産婦人科領域からの乳癌管理へのアドバイス 徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部 産科婦人科学分野教授 苛原 稔 参加費 500円	共催 宮崎乳腺疾患研究会 アストラゼネカ(株) ☎ 092-283-8150	1	1 乳
都城市北諸県郡医 師会東洋医学会学 術講演会 10月4日(土) 18 00～ 19 30 都 城 ロ イ ヤ ル ホテル	疼痛疾患の漢方治療 織部内科クリニック院長 織部 和宏	共催 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711 (株)ツムラ	1.5	60 61 83
西都市西児湯医師 会学術講演会 10月6日(月) 19 00～ 21 20 ホテルプリムロー ズ西都	歯科医からみた顎骨壊死(仮) 宮崎大学医学部附属病院 歯科口腔外科准教授 山下 善弘 現在の骨粗鬆症治療(仮) 上山整形外科クリニック院長 上山 裕史	主催 西都市西児湯医師会 ☎ 0983-43-1687 共催 西都児湯歯科医師会 西都市西児湯内科医会 アステラス製薬(株)	2	10 13 77 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県内科医会 学術講演会 10月 7 日(火) 19 00~ 20 30 ガーデンテラス 宮崎	糖尿病治療の最近の話題(仮) 大阪市立大学腎臓病態内科学准教授 絵本 正憲	共催 宮崎県内科医会 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株) ☎ 092-283-8461	1.5	23 76 82
宮崎県医師会産業 医研修会 10月 9 日(木) 19 00~ 21 00 延岡地域職業訓練 センター	(1)労働安全関係法規と関係通達の改正 この頃の産業保健の動向 - 厚生労働省報道発表資料から - 西部労働衛生コンサルタント事務所 代表 矢崎 武 生涯研修の更新研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	3 7 8 9
宮崎県内科医会 学術講演会 Asthma control seminar 2014 10月 17 日(金) 19 15~ 20 30 ガーデンテラス 宮崎	喘息・COPD 診療の実際 - オーバーラップも含めて - 東邦大学医療センター 大橋病院教授 松瀬 厚人	共催 宮崎県内科医会 アステラス製薬(株) ☎ 0985-61-1537 アストラゼネカ(株)	1	46 79
宮崎県医師会産業 医研修会 10月 23 日(木) 14 00~ 16 00 県医師会館	(8)有害業務管理 騒音性難聴を予防する 宮崎大学医学部公衆衛生学分野教授 黒田 嘉紀 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	8 11 12 38

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
第 13 回宮崎難治性 疼痛研究会 10 月 24 日(金) 19 00~ 20 40 宮崎観光ホテル	腰痛と体幹深部筋機能 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 金岡 恒治	共催 宮崎難治性疼痛研究会 日本臓器製薬(株) ☎ 096-386-0441 後援 宮崎県医師会	1	60 61
第 51 回宮崎県 スポーツ学会 10 月 25 日(土) 15 00~ 18 30 県医師会館	スポーツ栄養サポートの実際と課題 福岡大学スポーツ科学部教授 小清水 孝子 スポーツフィールドにおけるリハビリテーションと 外傷予防対策 日本福祉大学健康科学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻 教授 小林 寛和 野球肘の治療戦略 - 手術的治療を中心に - 横浜南共済病院スポーツ整形外科部長 山崎 哲也 参加費 1,000 円	共催 宮崎県スポーツ学会 久光製薬(株) 後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986	3	10 11 21 23 57 61
江南医療連携の会 特別講演会 11 月 1 日(土) 14 30~ 16 00 宮崎江南病院	在宅で過ごす人生最後の日々 藤元総合病院在宅医療センター長 馬見塚 勝郎 天寿と延命 人工栄養で生きるということを考える 東京大学人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター特任准教授 会田 薫子	主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575	1.5	4
宮崎県医師会産業 医研修会 11 月 13 日(木) 19 00~ 21 00 延岡地域職業訓練 センター	(3)健康管理 糖尿病の予防と治療 都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会 2 単位	共催 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 11 76 82

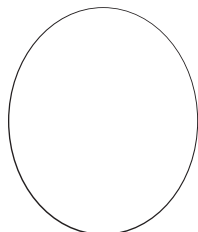
名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 = 連 絡 先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県医師会産業 医研修会 11月 15日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館(TV 会 議 都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸)	(5)健康保持増進 健康管理, リスク管理, 労務管理, 経費節約, 健保 財政改善から考える職場の喫煙対策 産業医科大学産業生態科学研究所 健康開発科学研究室教授 大和 浩 (1)総論 産業医に必要な疫学統計 自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門教授 中村 好一 基礎研修の後期研修会, 生涯研修の専門研修会 4 単位	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	4	3 5 8 11 12 13 82 84

日本医師会生涯教育カリキュラム (2009)

カリキュラムコード (略称 CC)

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師 - 患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害 (うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便秘異常 (下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療 (漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

診療メモ



ファブリー病について

中山医院 なか やま 中 山 けん 健

はじめに

ファブリー病は、ライソゾーム内に存在する加水分解酵素の 1 つである α -ガラクトシダーゼ (α -Gal) の欠損や活性の低下によりガラビオシルセラミド (GL-2)、血液型 B 型糖脂質など非還元末端にガラクトースをもつ糖脂質、なかでもグロボトリアオシルセラミド (GL-3)、別名セラミドトリヘキソシド (CTH) が全身の組織中に蓄積して障害が発症する 染色体劣性遺伝性疾患である。従って、多彩な臨床症状が見られる。

著者はかつて維持血液透析男性患者の中に本疾患が存在する可能性を考え、当院の患者 26 名を対象としてスクリーニングを行い有病者と思われる 1 例を発見して宮崎医学会誌に発表した (21 117~121, 1997)。当時酵素補充療法 (ERT) は確立しておらず、本邦では 2004 年に薬剤が上市されて以後各科領域で診断と治療がより積極的に行われるようになった。当地でも平成 26 年 5 月 10 日にセミナーが開催されたが、本疾患の認知度は一般には必ずしも高くはないと思われる。

病態・症状・発生頻度・病型

本疾患は、1898 年 Fabry (独) と Anderson (英) が別々に被角血管腫や蛋白尿を呈する男性患者を 1 例ずつ報告したのが最初である。その後、194 年 Pompen らは全身性代謝異常疾患による蓄

積症との考えを発表し、1963 年 Sw eeley らにより蓄積物質が同定され、1965 年 O pitz らが連鎖劣性遺伝性であることを示し、1966 年 Brady らにより欠損酵素が明らかになった。そして、1986 年 Bishop、1987 年辻らにより cDNA の塩基配列が決定した。

症状は、小児期では皮膚の被角血管腫、四肢末端の疼痛や低汗症そして腹痛や下痢などの神経症状であるが、加齢と共に GL-3 が腎臓・心臓・脳血管などの微小血管内皮細胞に蓄積し、進行すると血管内腔の狭小化、閉塞や繊維化へと進展して病態が成立する。そして、典型例では中年期までに腎機能不全、左室肥大・心筋症・不整脈などの心臓機能異常や脳梗塞・脳出血などの脳血管障害が発症して死に至ることも多いが、症例によって障害の程度に差があり予測は困難である。その他の症状も多彩で、眼症状として渦巻き状角膜混濁 (ヘミ接合体のほぼ 100%、ヘテロ接合体の約 90% 以上に観察される特徴的な所見で、通常幼児期から見られる)・白内障・結膜、網膜の血管病変、耳症状として耳鳴・難聴・めまいなどがある。また、慢性咳嗽、下肢の浮腫、慢性頭痛なども認められる。

発生頻度は、新生児男児を対象としたスクリーニングで α -Gal 活性低値例がイタリア (2006 年) で 0.03%、台湾 (2009 年) で 0.08% との報告がある。本邦では 2013 年井上らによる調査の結果、

新生児で病因性遺伝子突然変異が認められた割合は 1 /7057であったという。この数値はこれまで予測されていたものより高い。また、腎不全・心疾患・脳虚血性疾患などを対象としたいいわゆるハイリスクスクリーニングでは、国内外で 1 ~数%との報告が多い。ちなみに、中尾らにより 1995年、鹿児島大学を受診した左室肥大を伴う男性患者 230名中 7 名(3.0%), また 2003年、宮崎県と鹿児島県に在住する維持血液透析男性患者 514名中 6 名(1.2%)に本疾患が見いだされている。人種差や本邦での地域差については定説がない。

病型は、症状などにより通常次の 3 つに分類される。古典型：男性で α -Gal の活性はほとんどなく、前述した症状の多くが見られる。亜型：男性で α -Gal の活性はわずかながらあり、発症年齢が遅く比較的臓器特異的(腎型、心型)な症状を呈する。ヘテロ接合体：病因変異を 染色体上にもつ女性で、発症の有無は問わない。発症している場合は症候性ヘテロ接合体と呼ぶ。この発症の有無が生じる理由としては、女性では個々の細胞において 2 本の 染色体のうち 1 本は胎生期に不活化されると考えられており、この不活化される割合が高い X 染色体が変異アレルを有すれば健常者に近くなり、正常アレルを有すれば発症することになる。

診断・治療

診断は、男性では症状、家族歴などで疑診の症例に α -Gal 活性測定を行い値が正常値の 10% 位であればほぼ確定するが、補助的に組織病理

学的診断(光顕...とくに脂質好性のトルイジンブルー染色標本など・電顕), 血中・尿中 G1 -3 の測定や遺伝子検査を行う。女性ではこれらによっても診断が非常に複雑である。例えば父親がヘミ接合体の場合はその女兒は必ずヘテロ接合体であるが、母親がヘテロ接合体の場合はその女兒は 50% の確率でヘテロ接合体となる。その他、少数ながら de novo 変異も発生して色々なケースが生じる。

治療方法として臓器移植は当該臓器に関しては酵素産生も期待でき有効であるが、その他の部位の病変が続くので ERT が必須となる。薬剤は α -Gal 酵素製剤としてアガルシダーゼ ベータとアガルシダーゼ アルファの 2 剤があり、本邦では各々 2004年 4 月と 2007年 2 月に販売開始された。治療の実際は成書にゆずるが、本剤の投与開始時期は男性では初発症状の四肢疼痛が見られる 4 ~ 5 歳頃、女性では明らかな臓器障害が認められる 20歳頃とする意見が多い。本療法は欧米では 2001年頃から広く行われるようになり、2009年 Mehta らは 5 年間にわたる観察研究の結果、臨床アウトカムの改善に有効と発表している。

おわりに

男性の 1 症例で発症から診断までに 30年を要したとの 2008年布施らの事例報告もあり、各診療科で本疾患の存在を念頭に置くことが必要と思われる。

なお、参考文献の記載は紙面の都合で割愛した。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA 通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課までご連絡ください。（TEL 0985-22-5118）

送付日	文 書 名
7 月 25 日	・中東呼吸器症候群を指定感染症として定める等の政令の施行等について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№ 92」の提供について（通知） ・再生医療等安全性確保法に関する説明会の開催について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項及び第 14 条第 2 項に基づく届出の基準等について（一部改正） ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 13 条第 1 項の規定に基づく届出の基準について（一部改正） ・「宮崎県感染症発生動向調査事業実施要綱」の一部改正について ・「定期の予防接種等による副反応の報告等の取扱いについて」の一部改正について ・「予防接種法第 5 条第 1 項の規定による予防接種の実施について」の一部改正等について ・子宮頸がん予防ワクチン接種後の痛みの診療について ・新たな 4 種混合ワクチン（沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン）の取扱いについて ・平成 26 年度認知症サポート医養成研修に係る周知について（依頼）
7 月 28 日	・厚生労働省医政局「設立に認可を要する法人に関する行政評価・監視結果に基づく勧告を踏まえた医療法人に対する指導監督の徹底について」の送付について
8 月 1 日	・「小児死亡例に対する死亡時画像診断モデル事業」説明会開催について ・平成 26 年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について（送付） ・「病原微生物検出情報」の送付について ・平成 25 年度予防接種事故報告等について ・「認知症施策総合支援事業の実施について」の送付について ・中東呼吸器症候群（MERS）の指定感染症への指定後の対応について
8 月 4 日	・遺伝子検査について（情報提供） ・麻薬施用者免許証の旧姓記載について ・平成 26 年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者」に関する講習会の開催案内及び周知の協力依頼について ・HIV 検査普及啓発用ポスターについて（送付） ・独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センターが開催する認知症ケア研修会の案内について（依頼）
8 月 6 日	・野崎病院認知症疾患医療センターが主催する認知症地域医療連携講演会に関する周知について（依頼） ・大悟病院認知症疾患医療センターが主催する独立行政法人国立病院機構菊池病院との合同セミナー（認知症から学ぶ）に関する周知について（依頼） ・石綿ばく露労働者等に対する健康診断での CT 検査実施に係る参考情報の提供について ・平成 26 年度「女性に対する暴力をなくす運動」の実施について

送付日	文 書 名
8 月 8 日	・「予防接種法第 5 条第 1 項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について ・平成 25 年度介護報酬改定検証・研究調査の結果(最終版)の情報提供および平成 26 年度同調査の協力依頼について ・水痘及び高齢者肺炎球菌に関する Q & A 等について ・平成 26 年度医療施設静態調査、患者調査及び受療行動調査の実施通知等について(通知)
8 月 12 日	・今後の学校給食における食物アレルギー対応について(依頼)
8 月 13 日	・「予防接種法第 5 条第 1 項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について ・エボラ出血熱に関する対応について ・エボラ出血熱に関する対応について(情報提供) ・西アフリカにおけるエボラ出血熱発生への対応について
8 月 14 日	・厚生労働省「落分なし医療法人への移行促進策のご案内」パンフレットについて ・「使用上の注意」の改訂について ・「血液製剤等に係る適及調査ガイドライン」の一部改正について(通知)
8 月 15 日	・平成 26 年度(第 65 回)全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・平成 26 年度感染症流行予測調査における日本脳炎感染源調査結果について(送付) ・エボラ出血熱に関する検疫所の対応について(情報提供) ・日本医師会作成「改定診療報酬点数表参考資料」正誤表(その 2)様式関係の送付について
8 月 18 日	・「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」の施行に向けた地方厚生局における説明会開催について
8 月 19 日	・平成 27 年度木のある豊かなまちづくり促進事業(国費)の要望量調査について(依頼) ・独立行政法人国立病院機構菊池病院が開催する認知症高齢者対策研修の案内について(案内) ・厚生労働省「病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会」「議論の整理」の送付について ・厚生労働省「病院・診療所等におけるスプリンクラー設備の設置等に係る実態調査」の実施について
8 月 20 日	・(記者発表)麻しん患者の発生がありました～確実な予防接種を！！～
8 月 21 日	・財務省共済組合員証等の無効について(通知) ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№ 93」の提供について(通知) ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
8 月 22 日	・医療機器の不具合等報告の症例の公表及び活用について(周知依頼) ・「都道府県・二次医療圏入院外来将来需要予測」について(報告) ・「かかりつけ医機能強化研修会～第 2 回日本医師会在宅医リーダー研修会～」の開催について

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
d	a	b	c	d	e	a	b	d

今 月 の ト ピ ッ ク ス

日州医談 自殺対策について

平成 9 年に 300 人を超えて以降増加し、平成 19 年には 397 人となり自殺死亡率で全国ワースト 2 位を記録した宮崎県の自殺者問題。様々な対策が実を結んだのか、その年をピークに年々減少し始め、平成 25 年度には 256 人となり、30% 以上減らすことができました。一方、全国的にも 20~40 歳代の若年者はむしろ上昇傾向にあり、「勤務問題」がその原因として浮かび上がっているようです。失業率の上昇も自殺率と結びついておりまだまだ対策が必要のようです。吉田建世常任理事の解説です。 4 ページ

はまゆう随筆

7 月号から始まった、はまゆう随筆。今年は合わせて 35 編の作品をお寄せいただきました。今月号にも 10 編を掲載しております。いずれも含蓄の深い力作ぞろいです。小島めぐりの小旅行記は、地図を見ながら読ませていただいたら、ここからそんな風景が広がっているのだと、想像力をかきたてられました。また、国際緊急送金詐欺のお話など、えーと驚く中身です。お寄せいただいたすべての先生方に感謝いたします。 7 ページ

診療メモ ファブリー病について

加水分解酵素(α -Gal)の欠損や活性低下により発病するファブリー病。左室肥大を伴う男性患者の 3.0%、維持血液透析男性患者の 1.2% に本疾患が見いだされるという報告もあるそうです。また 2004 年以降は有効な酵素補充療法が行われるようになりました。しかしながら、一般の認知度はまだまだ高くはないようです。小児期から四肢の疼痛などで発症し、次第に腎、心、脳、眼、耳など全身に多彩な臨床症状を呈するようです。各診療科で本疾患の存在を念頭に置くべきと、中山健先生からの警鐘です。 72 ページ

日 州 医 事 第 781号 (平成 26年 9 月号) (毎月 1 回 10 日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101 番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail: office@iyazakimedor.jp

代表者 河 野 雅 行

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副 委 員 長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、上園 繁弘、原尾 拓朗、上條 苑子

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、川上 勲、枝元 真人

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究

事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春、久永 夏樹

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際は取り替えいたします。

定 価 350 円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)